

第1号議案

令和3年度 静岡市厚生事業協会
事業報告書

令和4年6月6日

社会福祉
法人

静岡市厚生事業協会

目 次

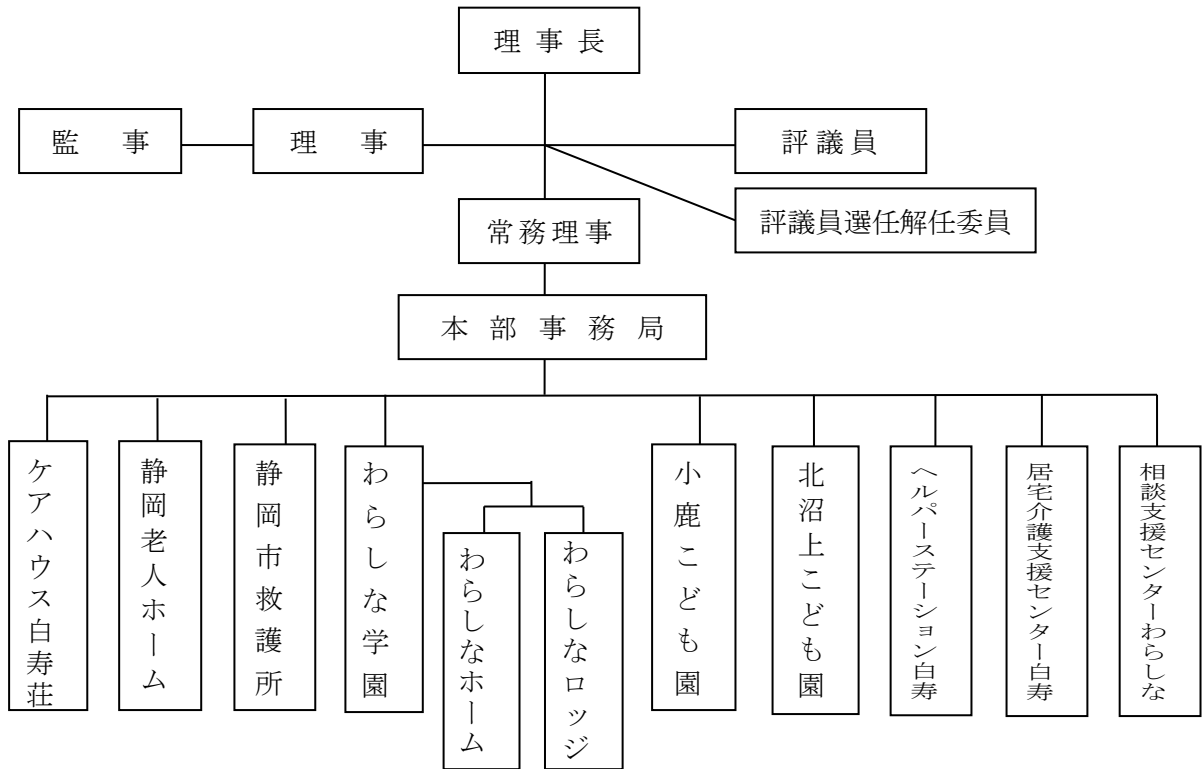
令和3年度 静岡市厚生事業協会事業報告

1	協会組織及び協会の動き	1	
	I 静岡市厚生事業協会	本 部 5	
	II 老人福祉関連	軽費老人ホーム	ケアハウス白寿荘 15
		養護老人ホーム	静岡老人ホーム 25
		老人居宅介護等事業 障害福祉サービス事業	ヘルパーステーション白寿 ..	39
	III 保護施設	救護施設	静岡市救護所 44
	IV 障害福祉関連	障害者支援施設	わらしな学園 55
		障害福祉サービス事業	わらしなホーム (グループホーム) 65
		障害福祉サービス事業	わらしなロッジ (重度障害者生活訓練ホーム) 69
		指定特定相談支援事業 指定障害児相談支援事業	相談支援センターわらしな ..	77
	V 幼保連携型認定こども園	小鹿こども園	80
		北沼上こども園	88
	VI 公益事業	居宅介護支援事業	居宅介護支援センター白寿 ..	100
2	付属明細書	103	

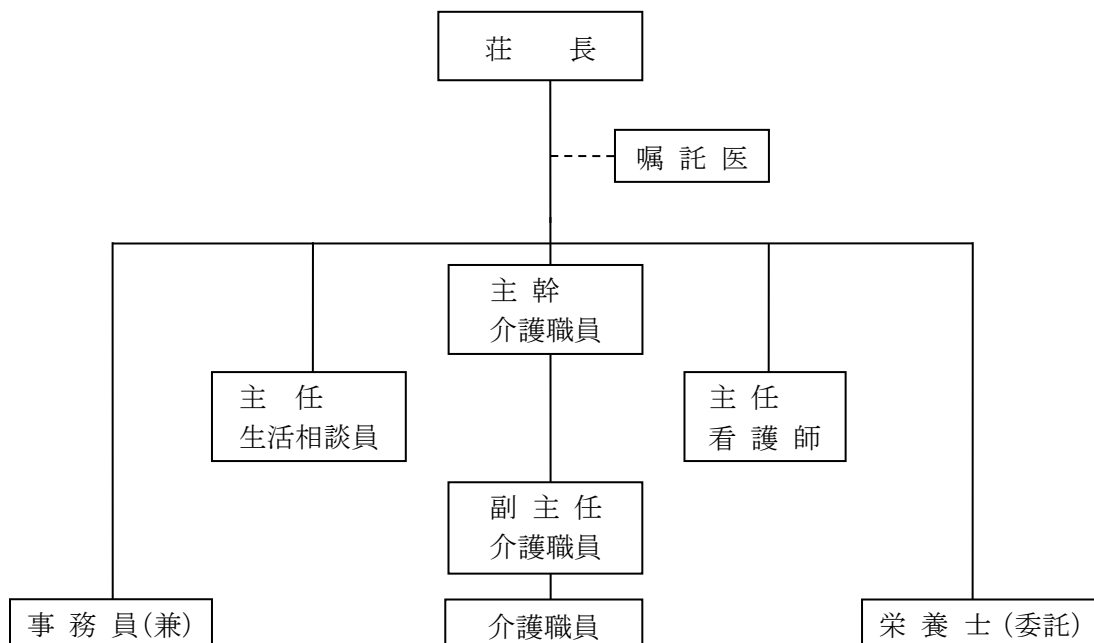
協 会 組 織

組 織 図 (令和3年4月)

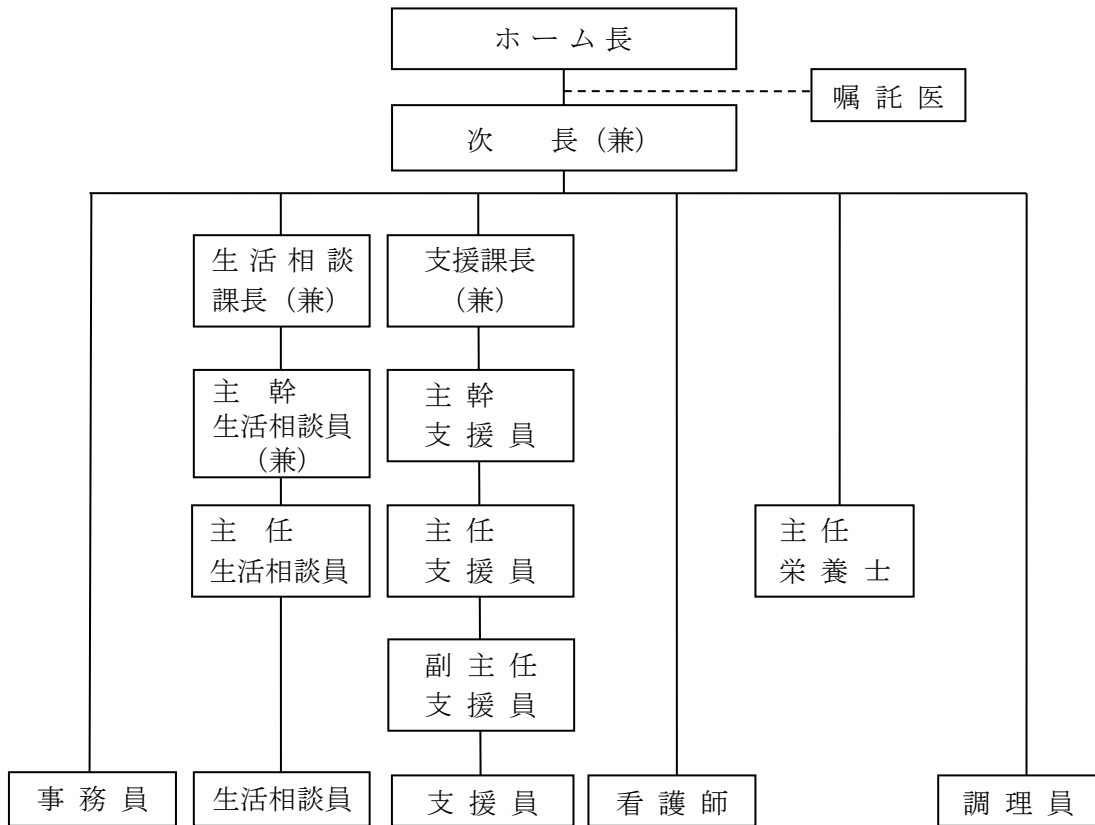
(協 会)



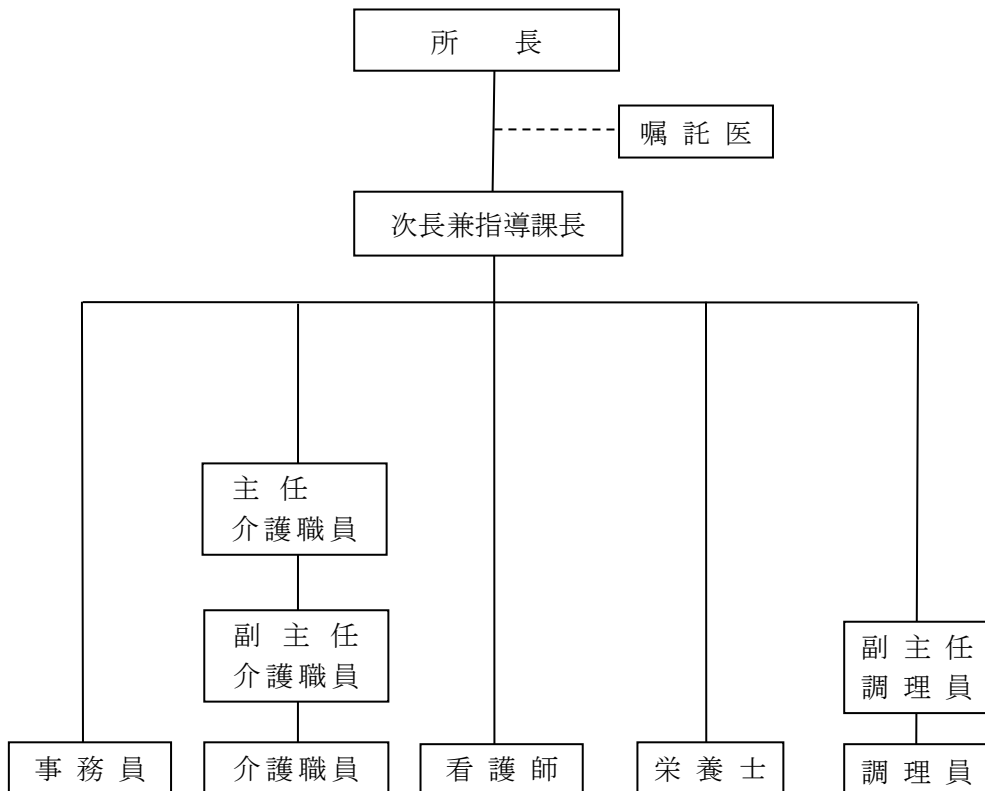
(ケアハウス白寿荘)



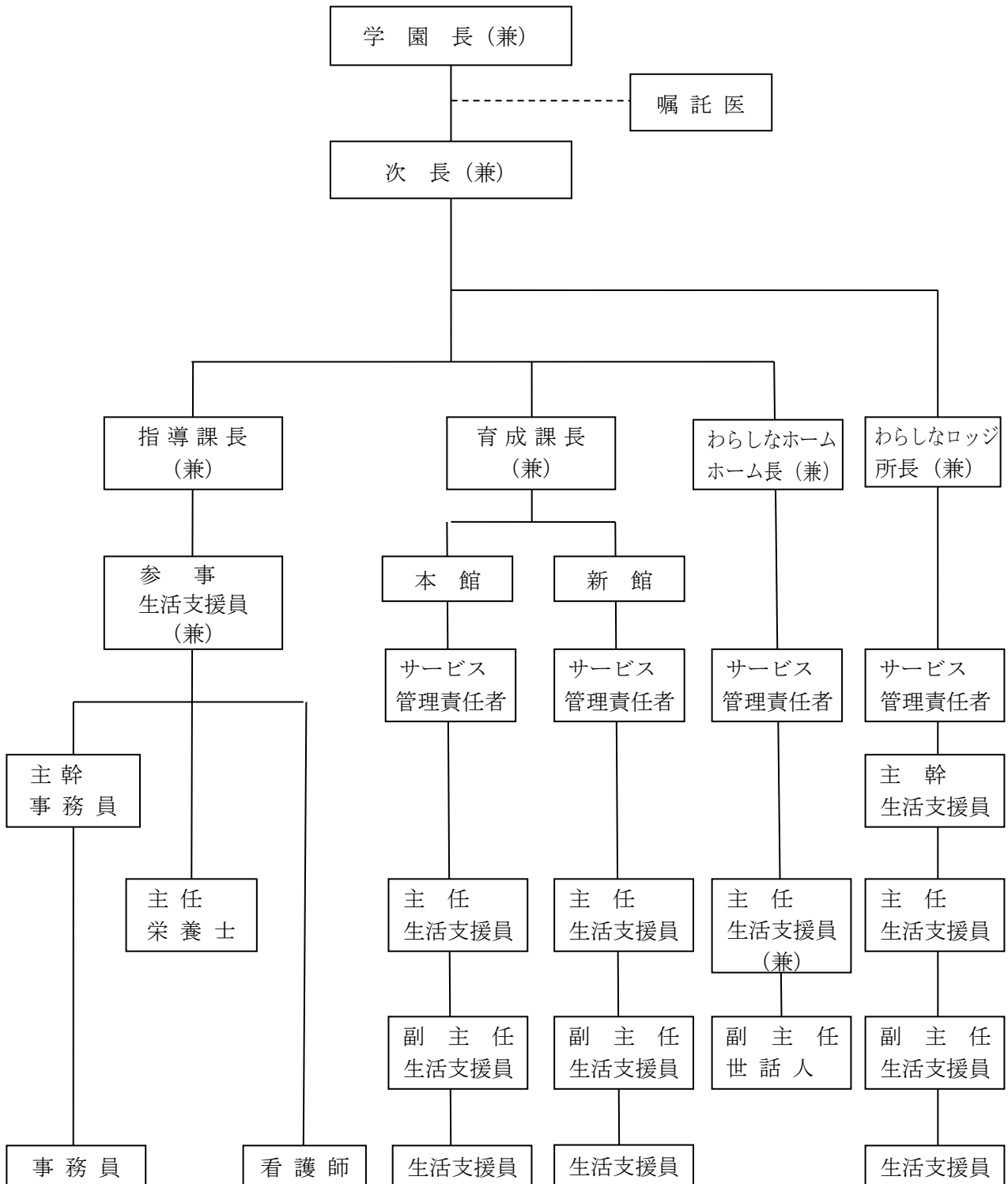
(静岡老人ホーム)



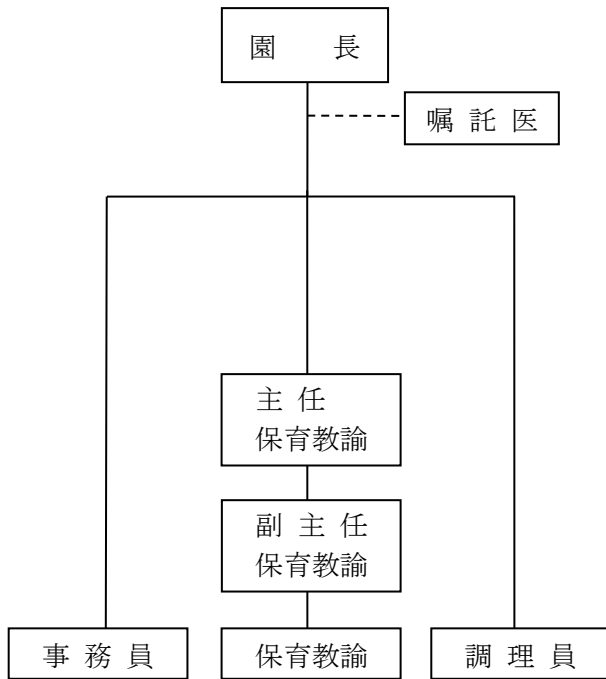
(静岡市救護所)



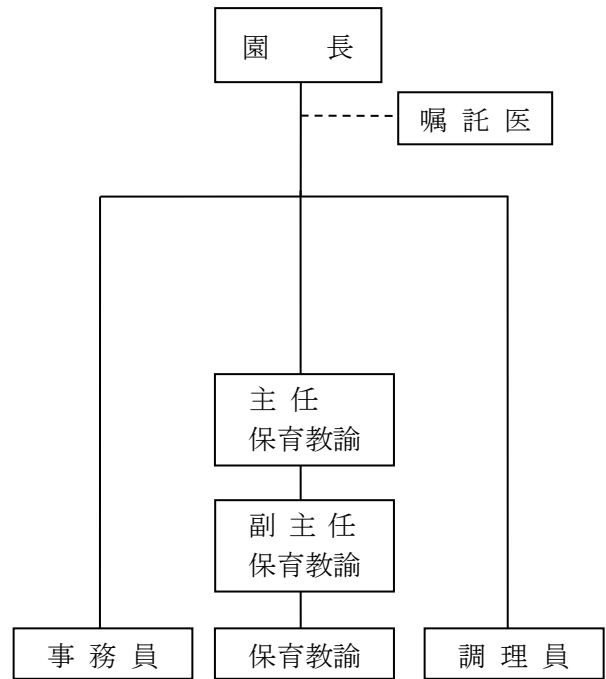
(わらしな学園)
 (共同生活援助事業所『わらしなホーム』)
 (わらしなロッジ)



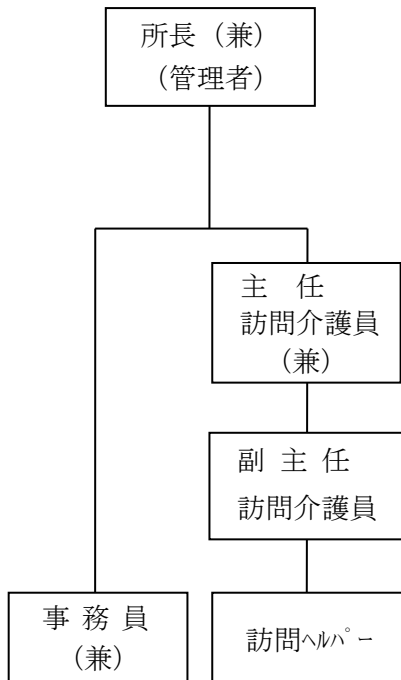
(小鹿こども園)



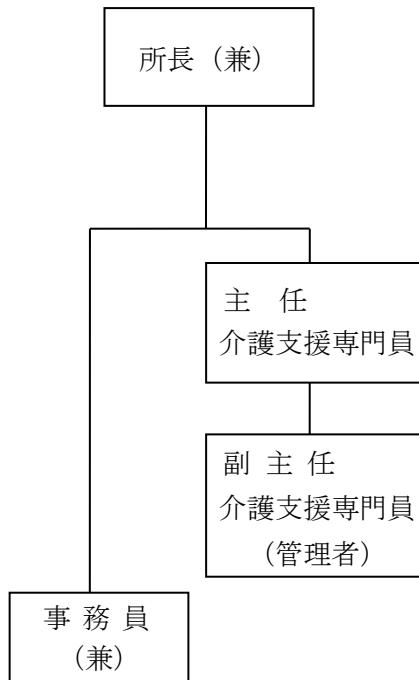
(北沼上こども園)



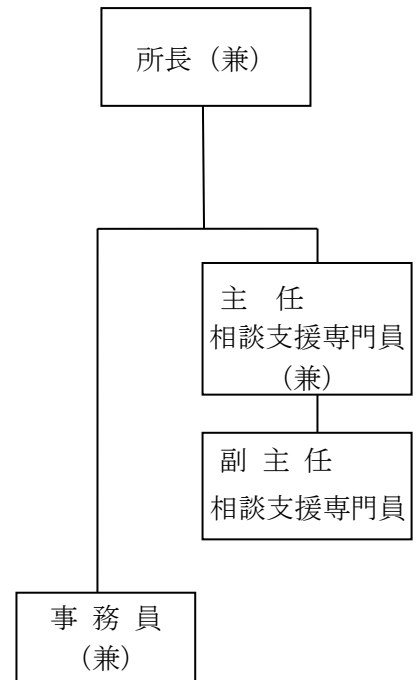
(ヘルパーステーション白寿)



(居宅介護支援センター白寿)



(相談支援センターわらしな)



本 部

1 主要事業報告

(1) 社会福祉充実計画

ア 設備等整備事業

- わらしな学園の利用者の重度化に伴い、1階の生活の場と2階の居住の場を安心安全に移動ができるようエレベーターを設置した。
- 小鹿こども園の園舎建替えまでの期間に安全に使用できるよう園舎劣化調査を基に修繕計画を作成し、令和3年度は厨房機器の更新や園庭遊具の修繕を行った。

イ 職員育成事業

新たに管理職となった者を対象に経営感覚を養うため、全国社会福祉協議会中央福祉学院が行う経営管理研修に参加する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため中止した。

(2) 業務継続計画

ア B C P 総合訓練

- 業務継続計画に基づき、令和4年2月17日に法人全体のB C P総合訓練を実施した。
訓練の主要テーマを「災害発生からB C P発動までの、本部と各施設との情報連絡訓練と全職員の安否確認」に定めて実施した。
- 職員個々の安否状況の確認が取れるシステム「安否コール」を活用した状況確認、災害時受援システム「そなえ」を活用した本部と各施設との情報連絡訓練を行った。
- 「そなえ」のシステム操作を複数の職員が扱うことができるよう反復実施した。
- 「安否コール」については、返信率が89%だった。今後もより精度を高めるため、職員への周知徹底のほか定期的に訓練を実施していく。

イ 設備・備品の点検、在庫管理

- 業務継続計画に基づき、各施設の設備・備品の点検、在庫管理を実施した。

ウ B C P 発動結果

令和3年7月2日（金）午前7:40に、大雨・洪水警報と土砂災害警戒情報（発表）に伴う避難指示が静岡市南部（北沼上、南藁科、西豊田、東豊田学区を含む）に発表された。これに伴い、災害時受援システム「そなえ」に各施設の対応状況を伝えるよう指示するとともに協会全体で情報共有を図った。

(3) 組織人事の活性化

ア 若年層採用拡大に係る求人対策の強化

(ア) 近隣大学、短大、専門学校等への求人活動

全 14 校 (介護職：計 2 回、保育職：計 4 回)

新型コロナウイルス感染症対策のため事前に学校に確認を取り、訪問ができる学校には直接赴き求人活動を行った。また、それ以外の学校には郵送による求人活動を行った。

大学が活用している求人受付NAV I (大学に求人依頼を行うことができるインターネットサービス) を利用した求人活動を行った。

その結果、今年度新たに浜松や磐田、愛知の学校にも求人票を送付することができた。

その他、静岡産業技術専門学校の学校説明会に参加し、保育学生に対し求人活動を行った。

(イ) 高等学校への求人活動

毎年 7 月に求人活動を行っていたが、6 月までに新規採用者の予定数を充足することができたため、今年度は行わなかった。

(ウ) マイナビ等を活用した求人活動

情報収集者：42 人

内協会就職説明会参加者：5 人

今後も継続して求人活動を行っていく。

(エ) 協会独自の就職説明会を実施

参加予約者：10 人

参加者：7 人

今後も継続して説明会を実施していく。

(オ) 県社会福祉協議会等が主催する就職説明会等への参加

県社会福祉協議会主催

- ・「福祉の就職フェア&進学相談会」

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止

- ・「福祉の就職相談会@オンライン」

オンラインイベントツール「GALIMO」を活用した就職相談会に参加した。

面談者 2 人

- ・「福祉の就職相談会」

グランシップで対面による就職相談会に参加した。

面談者 (学生 4 人、一般 4 人)

ハローワーク主催

- ・「保育の仕事就職相談会」

ハローワーク静岡で対面による就職相談会に参加した。

面談者 4 人

今後も継続してハローワークや県社会福祉協議会等が主催する様々な求人活動に参加していく。

【若年層採用結果】

単位：（人）

職 種	受 験 者	合 格 者	辞 退 者	採 用 者
介 護 職	5	4	1	3
保 育 教 諭	2	2	0	2
計	7	6	1	5

イ 組織の活性化と適材適所の人事配置

安定的な協会・施設運営の継続のため、長期的経営ビジョン、組織の活性化と適材適所の観点から人事配置を行った。

- ・昇任：13 人
- ・異動：14 人

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

ア 感染症対策徹底

- 利用者、職員ともに新型コロナワクチンを3回接種した。
- 職員が新型コロナウイルス感染症に感染、濃厚接触者又は感染の疑いが生じた場合、速やかに施設長に報告することを周知徹底するとともに、出勤停止の措置等を行うなど適切な指示を行った。
- 今後も全職員が福祉施設で勤務していることを良く理解し、高い意識を持ち感染症対策に努めるよう周知していく。

イ 施設の感染症対策徹底の指示

- 各施設に対し感染症対策の徹底を指示するとともに、各種行事等の自粛、施設外サービスの活用等の自粛等を指示した。
また、施設で新型コロナウイルス感染症の感染が確認された際は、施設間の移動をしないよう指示した。
- わらしな学園で新型コロナウイルス感染症が確認されクラスターとなり、感染拡大防止に努めるよう指示するとともに、状況報告を徹底するよう指示した。
また、他の施設においても感染が確認された場合は、速やかな報告及び感染拡大防止策の徹底を指示した。

- 今後も施設の中にウイルスを持ちこまないよう、感染症対策の徹底を指示していく。

ウ 施設間での情報共有

利用者及び職員が、新型コロナウイルス感染症の感染確認又は濃厚接触者となるなど感染状況について、施設連絡会等で状況を報告し、協会全体で情報を共有した。

エ 就業規則等の変更

- 新型コロナウイルス感染症の施設クラスター等に伴い、BCP対応による通常時とは異なる特殊な勤務に対する手当を創設した。
- 上記対応時により帰宅困難な職員に対し、旅費規程を準用した宿泊代を出せるよう整備した。

2 静岡市厚生事業協会役員

単位：（人）

区 分	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
理 事	4	2	6	4	2	6
監 事	3	—	3	2	1	3
評 議 員	5	3	8	5	2	7
評議員選任・ 解任委員	3	—	3	2	—	2

3 役員会等開催状況

開催日・場所	会議名	会 議 内 容
令和3年4月1日 (提出)	理事会 (理事会の 決議の省略)	【議 案】 ● 静岡市厚生事業協会常務理事の選定について
令和3年5月18日 5月20日 本部事務局 会議室	協会監査	【決算監査】 [監査員] 望月監事、繁田監事、石川監事 [監査内容] 決算監査 [監査講評] 業務の執行状況並びに財務の状況について、適正に処理されていることが認められた。

<p>令和3年6月2日 ペガサート6階 プレゼンテーションルーム</p>	<p>理事会</p>	<p>【議 案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年度事業報告について ● 令和2年度決算について <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算書類 資金収支計算書・事業区分資金収支内訳表及び拠点区分資金収支計算書 事業活動計算書・事業区分事業活動内訳表及び拠点区分事業活動計算書 貸借対照表・事業区分貸借対照表内訳表及び拠点区分貸借対照表 ・ 付属明細書 ・ 財産目録 <ul style="list-style-type: none"> ● 新理事及び新監事候補者案の評議員会への付議について ● 令和3年度定時評議員会の招集について ● 新評議員候補者の推薦について ● 令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について ● 新評議員選任・解任委員の選任について <p>【報 告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 静岡老人ホーム・静岡市救護所の指定管理者受託について
<p>令和3年6月10日 本部事務局 会議室</p>	<p>評議員選任・ 解任委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 新評議員候補者の選任について
<p>令和3年6月17日 ペガサート6階 プレゼンテーションルーム</p>	<p>定時評議員 会</p>	<p>【議 案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年度事業報告について ● 令和2年度決算について <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算書類 資金収支計算書・事業区分資金収支内訳表及び拠点区分資金収支計算書 事業活動計算書・事業区分事業活動内訳表及び拠点区分事業活動計算書 貸借対照表・事業区分貸借対照表内訳表及び拠点区分貸借対照表 ・ 付属明細書 ・ 財産目録 <ul style="list-style-type: none"> ● 新理事及び新監事の選任について <p>【報 告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 静岡老人ホーム・静岡市救護所の指定管理者受託について

<p>令和3年6月17日 (提出)</p>	<p>新理事会 (理事会の 決議の省略)</p>	<p>【議 案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理事長及び常務理事の選定について
<p>令和3年10月6日 静岡市民文化会館 第1会議室</p>	<p>理事会</p>	<p>【議 案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度資金収支補正予算について ● 給与規程の一部改正について ● 契約職員就業規則の一部改正について <p>【報 告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理事長及び常務理事による職務執行状況報告について ● 予備費の使用について
<p>令和3年11月17日 本部事務局 会議室</p>	<p>協会監査</p>	<p>【事業計画に基づく事業の進捗状況等業務監査】</p> <p>[監査員] 繁田監事、石川監事、伊澤監事</p> <p>[監査内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業計画の進捗状況 2 重要事項及び課題懸案事項等の進捗状況 3 第1回監査時の指摘事項の改善状況 4 委託業務契約等の執行状況 <p>[監査講評]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業計画の進捗状況 各施設とも新型コロナウイルス対策のため各種の事業を中止せざるを得ないものがあつたが、その規模の縮小や振替事業を実施するなどの創意工夫を行つており事業計画は順調な進捗状況だと認められた。 2 重要事項及び課題懸案事項等の進捗状況 新型コロナウイルス感染症対策については、各施設とも新型コロナウイルス対策の強化、施設整備計画及び入所通所利用者の確保等施設の安定的な運営を目指し各事業に積極的に取り組んでいる状況だと評価を受けた。 今後も、入所者・利用者及び職員等の健康面からもより一層の対策を講じるよう求められた。 3 第1回監査時の指摘事項の改善状況 各施設とも指摘事項を真摯に受け止め、解

		<p>決に向けての事業が見受けられ、そのほとんどが解決されており、一部残っている事業についてもその方向性は的確に捉えて実施している状況であると評価を受けた。</p> <p>4 委託業務契約等の執行状況</p> <p>各施設とも法人の「委託業務等業者選定委員会」により入札等に参加する者に必要な資格の審査の選定など合理的に行われており、今後も引き続き適切な業者選定となるよう公平、公正、競争原理に基づく契約事務に努めるよう求められた。</p>
<p>令和4年3月16日 静岡市民文化会館 第1会議室</p>	<p>理事会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度前期末支払資金残高の取り崩しについて ● 令和4年度前期末支払資金残高の取り崩しについて ● 令和3年度資金収支補正予算について ● 令和4年度事業計画について ● 令和4年度資金収支予算について ● 職員就業規則の一部改正について ● 給与規程の一部改正について ● 契約職員就業規則の一部改正について ● 経理規程の一部改正について ● 施設長の任免について <p>【報 告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定障害福祉サービス事業所従事者による障害者虐待に係る改善指導に対する報告について ● わらしな学園の新型コロナウイルス感染症のクラスターの報告について ● 静岡老人ホームの新型コロナウイルス感染症の感染確認の報告について ● 令和3年度静岡市指導監査結果報告について ● 令和3年度第2回法人監事監査結果報告について ● 理事長及び常務理事による職務執行状況報告について ● 令和4年度職員の人事異動について

4 市指導監査状況

開催日・場所	会議名	内 容	
令和3年7月28日～ 12月16日 法人本部及び各施設	市指導監査	本 部	12月14日
		ケアハウス白寿荘	12月14日 書面審査
		静岡老人ホーム	12月15日 書面審査
		静岡市救護所	12月15日 書面審査
		わらしな学園	12月16日 書面審査
		小鹿こども園	7月28日、9月29日 書面審査
		北沼上こども園	8月31日、9月6日、 9月28日 書面審査
それぞれ監査を受け、会計処理や事務手続き等について、口頭指摘、助言等を受けた。			

5 職員数

単位：（人）

区 分	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
施設長等	5	2	7	5	2	7
福祉職（※）	34	38	72	34	36	70
保育教諭	2	25	27	2	24	26
看護師		5	5		5	5
栄養士		3	3		4	4
調理員	3	6	9	3	6	9
事務員	2	5	7	2	6	8
契約職員	3	60	63	4	61	65
嘱託医	14		14	14		14
合 計	63	144	207	64	144	208

（※）福祉職は、介護職員、支援員、生活相談員、ヘルパー等

6 協会研修

項 目	研 修 内 容
実務能力向上研修1 広報（※1）	内 容 上手なPR、プレスリリースの仕方等
実務能力向上研修2 財務3表の見方（※1）	内 容 計算書類、月次報告書の見方
実務能力向上研修3 経営分析（※1）	内 容 協会の財務状況、月次報告書の見方
実務能力向上研修4 委託業務契約（※1）	内 容 委託業務の考え方、業者選定の方法と手順、模擬入札
実務能力向上研修5 予算の仕組みと編成の仕方（※1）	内 容 予算の考え方、令和2年度の編成上留意点
危機管理研修1 業務継続計画 （新型コロナウイルス感染症対策として各施設長が実施）	1 受講者 令和3年度新規採用職員 7人 新卒 2人（介護職1人、保育教諭1人） 中途 5人（介護職2人、保育教諭2人、看護師1人） 2 内 容 業務継続計画の内容を理解する
危機管理研修2 リスクマネジメントと クライシスマネジメン ト（※1）	内 容 危機管理、対策、事例研究等
危機管理研修3 法令遵守（※1）	内 容 法令遵守方針と個人情報保護
危機管理研修4 ハラスメント（※1）	内 容 ハラスメントのない職場づくり
階層別研修 主幹・主任職員（※1）	内 容 人材育成、意欲ある職員を育てるために
階層別研修 副主任職員（※1）	内 容 組織・職務の主たる担い手としての自覚を高める
階層別研修 新規採用職員 研修ノート	1 実施日 令和3年4月1日～令和4年3月31日 2 受講者 令和3年度新規採用職員 4人 3 内 容 法人組織の理解、配属先施設の役割と理解、育成担当者との相談等

<p>階層別研修 新規採用職員 (新型コロナウイルス感染症対策として各施設長が実施)</p>	<p>1 受講者 令和3年度新規採用職員 7人 新卒 2人(介護職1人、保育教諭1人) 中途 5人(介護職2人、保育教諭2人、看護師1人)</p>	<p>2 内 容 法人組織と施設概要、職員就業規則、給与規程、職員就業規則、危機管理関係、親睦会、法人職員として求められるもの等</p>
<p>職場研究発表会(※2)</p>	<p>内 容 法人組織の活性化と組織力向上を目指し、職員のスキルアップを図るため、法人研修の一環として「厚生事業協会職場研究発表会」を開催する。職場に係る建設的提案・懸案事項解決策の研究、職場の活性化など様々なテーマを掲げた研究発表を行った。</p>	
<p>計</p>	<p>実施回数 4回</p>	<p>参加者 32人</p>

(※1) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(※2) 新型コロナウイルス感染防止のため、会場に一同を介しての発表会は中止し、代替として発表をDVDに納めて各所に配布するとともに審査会を行った。

7 外部研修

項 目	研 修 内 容	
<p>社会福祉施設長資格認定 講習 (全国社会福祉協議会 中央福祉学院)</p>	<p>1 受講者 令和3年度新規採用施設長 1人</p>	<p>2 内 容 社会福祉施設の長の資格要件となる、管理者として必要な経営管理、人事・労務管理、財務管理について学ぶ</p>

ケアハウス白寿荘

1 主要事業報告

(1) 利用者自立支援事業

ア 利用者の意思及び人権を尊重し自立した生活を営めるよう、利用者の立場に立って支援を行なった。

イ 新型コロナウイルス予防対策として面会に制限がある期間、前年度に続き、ホームページの更新や白寿荘たより、個別の連絡を通じ、家庭との結び付きを図った。また、外出に制限がない期間、地域の防災訓練や清掃活動等に参加し、地域との結び付きを図った。

(2) 利用者の健康維持・増進

個々の有する能力に応じ、入浴、洗濯、食事等の日常生活上の介護及び機能訓練を行ない、心身機能の維持、向上を図った。

(3) 施設修繕・設備更新

施設内における各箇所の老朽化等、状況を把握するとともに、必要に応じて各種修繕を行った。

(4) 施設のPR活動の強化（入所利用者の確保）

ア 昨年度に続き、地域の店舗にポスターを掲示したり、ホームページに空室状況や施設の状態を掲載する等、PR活動に努めた。

イ イベントにシニアサポーターを招き、施設を知って頂く機会を作ると共に、多方面からの相談を随時受け付け、相談業務を行うことで、入所に結びつく様努めた。

(5) 特定施設入居者生活介護の増床に向けた準備

特定施設入居者生活介護の3床増床に向け、静岡市と協議を行い、申請に関する情報収集を行なった。

(6) 感染症対策事業

ア コロナウイルス感染症に関する、最新の情報収集に努めると共に、対策マニュアルの見直しを行なった。

イ 状況に合わせて、利用者に感染症に関する情報提供・説明等を行ない、生活面での協力を求めた。

ウ 空気清浄機やパーテーション、消毒等設置し、環境整備と感染防止に努めた。

エ コロナ渦で外出の機会が減る中、館内で体操を行なったり、近隣の散歩、行事を感染防止に配慮しながら施設内で楽しめる内容に工夫する事で、利用者の心身の健康増進に努めた。

オ 感染症発生時の対応確認、使用する物品の使用方法確認の内部研修を行った。

カ 利用者、職員の新型コロナウイルス予防接種3回接種済み。

(7) 防災対策事業

地震、水害、火災等、コロナ禍での避難等、様々な状況を想定した訓練を行なう事で、災害に備えた。

2 職員数

単位： (人)

職 名	年 度		令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	男	女	計	男	女	計
荘 長	1		1		1	1		1
主任看護師		1		1	1			
看護師				1	1		1	1
主任介護支援専門員 (兼務)				(1)	(1)		(1)	(1)
主任生活相談員		1		1	1			
副主任生活相談員				1	1		1	1
主幹介護職員		1		1	1		1	1
副主任介護職員		2		2	2		1	1
介護職員		4		4	4		4	4
栄養士				1	1		1	1
栄養士 (業務委託)		1		1	1			
事務員 (兼務)	(1)		(1)		(1)	(1)		(1)
嘱託医	1		1		1	1		1
計	2	10	12		12	2	9	11
	(1)		(1)		(1)	(1)	(1)	(2)

() は外数

3 施設整備

項目	内容
浴槽蛇口修繕	浴槽の蛇口破損。水栓・排水口パッキン交換
2Fコイン洗濯機修繕	南側・北側共に吊り棒折損の為、部品交換。(主軸・釣り棒交換)
厨房洗浄機修理	すすぎポンプ、給水フレキ交換。
厨房天井修理	厨房天井水漏れにより漏電。水漏れ箇所修繕。殺菌灯交換。
エアコン室外機工事 (35ヵ所)	雀が室外機に入り込み、巣を作っていた為、侵入できない様に補修工事を行なった。
3Fコイン洗濯機修繕	吊り棒折損の為、部品交換。
公用車タイヤ交換	劣化により、右側後輪パンク。全車輪に劣化があった為、交換。

4 職員研修 (年間)

単位： (人) (日)

職部門	研修内容	主催者等	参加人数	出席日数
管理職	静老施協中部支部理事会	静老施協中部支部	1	3
	静岡県老人福祉施設協議会 定例総会	県老人福祉施設協議会	1	2
	静岡県老人福祉施設協議会 理事会	県老人福祉施設協議会	1	2
	静岡市老人福祉施設連絡会	静岡市老人施設連絡会	1	1
相談員	介護現場における身体拘束・虐待防止	公益財団法人介護労働安定センター	1	1
	弁護士に学ぶ介護事故対応「介護事故におけるリスクとその対応」	公益財団法人介護労働安定センター	1	1
介護職員	利用者に心地よく介護者に優しい介護技術講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー (※)	県社会福祉協議会	1	1
	高齢者の転倒予防講座	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉施設・事業所のBCP (事業継続計画) 実践編 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	OTによる介護職の為の介護技術講習「力に頼らず、心から動いて頂く介護技術の基礎」 (※)	公益財団法人介護労働安定センター	1	1
	AED研修	施設内 内部研修	2	2
	計		13	17

(※) 新型コロナウイルス感染防止対策のためリモート研修

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備考
成人病検査（一般）	年1回	市医師会	9人	全職員
夜勤者等健診（腰痛検診含む）	年1回	板井クリニック	7人	夜勤従事職員等
ストレスチェック	年1回	聖隷健康サポートセンター	10人	全職員
検便 （赤痢菌・サルモネラ菌・ O-157）	年2回	（株）マルマ	11人 11人	全職員 7月 12月

6 施設利用人員

【定員：50人】

単位：（人）

	男	女	計
令和3年度当初	13	31	44
入所者	4	4	8
退所者	1	6	7
令和3年度末	16	29	45

7 施設入所理由

単位：（人）

理由	男	女	計
独居困難	1	3	4
独居不安	2	0	2
家族との同居困難	1	0	1
生活環境の転換	0	1	1
計	4	4	8

8 施設退所理由

単位：（人）

理由	男	女	計
自立復帰	0	1	1
他施設へ転出	0	5	5
死亡（入院中）	1	0	1
計	1	6	7

9 利用者の年齢(令和4年3月31日)

60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	90歳 以上	計	平均年齢	最高年齢
3人	6人	20人	16人	45人	85.8歳	99歳

10 利用者の在所年数(令和4年3月31日)

2年未満	2～4年	5～9年	10年以上	計	平均年数	最高年数
12人	10人	14人	9人	45人	6年 5か月	27年 10か月

11 利用者の健康状況(令和4年3月31日)

(1) 歩行状態

単位：(人)

区分	車椅子	歩行器	シルバーカー	杖	自立	計
人数	0	9	11	3	22	45

(2) 介護保険認定者

単位：(人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
6	3	16	5	3	0	0	33

(3) 障害手帳所持者

単位：(人)

身体障害者手帳	障害者手帳(精神)	療育手帳(知的)	計
5			5
1級(2) 2級(1) 3級(0) 4級(1) 5級(1)			

12 利用者の健康診断状況

実施時期	内 容	備 考
7月～8月	身長・体重・血圧・聴打診・ 心電図・検尿・血液検査	板井クリニック（嘱託医）又は、 かかりつけ医
9月	胸部レントゲン検査	静岡済生会総合病院健康管理センター 又は、かかりつけ医 ※特定は板井クリニック（嘱託医）
10・11月	インフルエンザ予防接種	板井クリニック（嘱託医）又は、 かかりつけ医
6・2月	新型コロナワクチン接種	嘱託医 板井クリニック

13 利用者へのサービス状況

（1）定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
<ul style="list-style-type: none"> ・白寿会集会（利用者による全員集会） ・身体・血圧測定 ・嘱託医往診（特定利用者のみ） ・健康診断（定期健康診断） ・老人体操、ウォーキング ・こども園交流会 ・レクリエーション会（レクリエーションとおやつ提供） ・誕生会（食堂で紹介、プレゼントを渡す。） ・クラブ活動（カラオケ・習字） ・娯楽（新聞、雑誌） ・居室訪問（利用者居室の使い方確認） ・奉仕活動（小鹿公園清掃） ・防災訓練（詳細は（4）に記載） ・慰問、ボランティア受け入れ ・老人相談事業（入所相談） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 ・処遇会議 ・サービス担当者会議 ・介護職会議 ・栄養管理委員会 ・感染症対策委員会 ・身体拘束廃止委員会 ・施設安全管理委員会 ・虐待防止委員会 ・苦情相談第三者委員会 ・コロナ対策会議

(2) クラブ活動

クラブ名	講師「注1」	回数(回)「注2」	参加人員(人)
カラオケ	高橋陽子 (児玉歌謡教室)	32(52)	485
書道	安達美千代	6(24) 「注3」	20
計		38(76)	505

「注1」カラオケ、書道共に講師はボランティア

「注2」実施回数、()内の回数は実施予定回数。

「注3」年度当初(4～5月)は講師の体調不良により先生を招かず利用者のみでの実施。

その後、11月より、新たな講師により再開。

(3) ボランティア受け入れ

奉仕内容	奉仕者	回数(回)	延人数(人)
指圧・マッサージ	深沢明美 (明美指圧はりきゅう室)	17(24)	51

(4) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想定時間帯	訓練内容
4月30日			防災設備点検(機器点検、総合点検)
20日	地震想定	午前	避難進路の確認、避難誘導
5月28日	豪雨による 浸水想定	午後	避難経路の確認、避難誘導
6月22日	火災想定	午後	避難経路の確認、避難誘導、厨房職員参加訓練
24日		午前	水消火器訓練 ※コロナウイルス感染症の関係で防災担当職員のみ こども園の水消火器訓練に参加
7月29日	地震想定	夜間	避難誘導の確保、避難誘導 白寿荘緊急時職員連絡網訓練
8月30日	豪雨による 浸水想定	午後	避難経路の確認、避難誘導
9月30日	地震想定	午後	避難経路の確認、避難誘導
10月14日	地震による 火災想定	午前	避難経路の確認、避難誘導、水消火器訓練 厨房職員参加訓練
22日			防災設備点検(機器点検)

11月 1日	地震想定		社会福祉施設防災視察 ※コロナウイルス感染症の為、中止
11日	地震想定	午前	防災倉庫、備品の点検 避難経路の確認、避難誘導
12月 2日	地震による 火災想定	午後	避難経路の確認、避難誘導、厨房職員参加訓練
5日		午前	地域防災訓練（※コロナ感染症の関係で安否確認のみ）
1月31日	地震想定	夜間	避難経路の確認、避難誘導、白寿荘緊急時職員連絡網（模擬）
2月14日	地震想定	午後	避難経路の確認、避難誘導
17日	地震想定	午前	法人全体BCP総合訓練
3月 4日	地震による 火災想定	午後	避難経路の確認、避難誘導

14 季節的行事

月	行事内容
4	1日 特定利用者お花見会（二つ池散策） 8日 特定利用者お花見会（小鹿こども園園庭の桜見学、わらび餅提供） 15日 春のお楽しみ食事会（お花見弁当・折り紙を使ったゲーム） 27日 特定ドライブ（久能方面ドライブ、買い物）
5	5日 端午の節句、菖蒲湯（壁面作成・菖蒲湯） バス旅行（※） 27日 レクリエーション会（カラオケ、新茶と上生菓子提供、アイロンビーズ作成） 小鹿こども園乳児との交流会（※）
6	22日 七夕（飾り作成、玄関・館内に飾り付け） 24日 お楽しみ食事会（オリンピッククイズ）
7	2日 施餓鬼供養（法泉寺住職が来荘、供養） 15日 DVD鑑賞会（DVD鑑賞、おやつ提供） 小鹿こども園との交流会（夏祭り）（※）
8	小鹿二丁目町内会納涼祭（※） 12日 お楽しみ食事会（シニアサポーターによる芸鑑賞、丼3種から選択） 26日 納涼会（町内納涼祭中止の為計画、夏祭り風にかき氷、綿菓子等提供）
9	16日 敬老式典（家族会は中止、縮小して実施。こども園からのDVD鑑賞。お礼に壁面作成し、プレゼント）

10	小鹿こども園との交流会（運動会）（※） 26日 レクリエーション会（シニアサポーターによる腹話術、南京玉すだれ等の 演芸鑑賞） 小鹿こども園との交流会（さつま芋クッキング）（※）
11	9日 トラヤ移動販売 21日 DVD鑑賞会（DVD鑑賞、おやつの提要） 25日 お楽しみ食事会（シニアサポーターのハーモニカバンド、寿司御膳）
12	16日 クリスマス・忘年会（シニアサポーターによるハンドベル、クリスマスメ ニュー） 22日 ゆず湯 23日 特定おやつクッキング（サンドイッチ作り） こども園交流（餅つき）（※）
1	4日 年賀交歓会（新年挨拶、甘酒・お菓子提供）
2	1日 節分豆まき（豆まき、お菓子・甘酒提供） 20日 ケアハウス初詣（静岡浅間神社）
3	3日 ひな祭り（壁面作成） 15日 DVD鑑賞会（NHK回想ライブラリー「思い出の皇室」、お茶の提供） 小鹿こども園との交流会（ひな祭り）（※） 22日 豊田児童館茶道クラブ春のお茶会 24日 特定駄菓子屋さん（駄菓子の購入）

（※）新型コロナウイルス感染防止のため中止

15 地域交流活動

（1）老人福祉相談事業

単位：（件）

来所	電話	その他	計
17	35	1（相談員） 1（他施設の紹介） 1（メール）	55

（2）民間社会福祉施設地域活動事業

行事	実施回数 (単位：回)	参加人数（単位：人）		
		施設	地域	計
児童公園清掃	6	45	109	154
書道クラブ	6	20	0	20
カラオケクラブ	40	485	0	485

(3) こども園交流事業

行事 (小鹿こども園)	実施日	参加人数(単位:人)		
		利用者	園児	計
敬老交歓会	9月16日	(※1)	(※1)	
運動会	10月23日 30日	(※)	(※)	

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(※1) 敬老交歓会はDVDと壁面の交換で交流を図る。

16 苦情相談解決結果

ケアハウス白寿荘で令和3年4月1日から令和4年3月31日までに受付けた苦情内容及び解決結果について公表します。

苦情内容を真摯に受け止め、より良い施設運営に役立てていきます。

苦情内容及び改善結果報告		
苦 情		
1	項 目	食事の異物混入
	苦情内容	令和4年2月2日(水)の夕食(ぶり大根)に2cm程の細い髪の毛が混入していた。ご本人より、施設介護職員に申し出が有り、その場で厨房職員と共に謝罪。了解を得る。
	解決方法	今後、厨房に入る時、今まで以上に丁寧にローラーをかけ、衣類のほこり等を取り除く様徹底する。 帽子の被り方を髪の毛が出ない様に徹底する。
	改善結果	委託業者に上記の内容の徹底を指示。 その後、異物混入の発生無し。

静岡老人ホーム

1 主要事業報告

(1) 感染対策の強化

ア 新型コロナウイルス、インフルエンザ及びノロウイルス等の感染症発生を防止するため、動画等を活用した職員研修（施設内）実施とあわせ、国や県・市の動向等の情報収集、対応物品の管理・補充を行い、感染対策の強化を行った。

イ 令和4年3月1日、ショートステイ利用者が通院先での検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判定された。嘱託医の助言などに基づく隔離等の対応を迅速に行うことで、感染者を利用者7名、職員1名の計8名のみを抑えることが出来た。

(2) 危機管理体制の強化

年々被害が増大している水害、突然の地震などの自然災害や、新型コロナ感染症に備え、事業継続計画（BCP）及び具体的な対応手順を定める事業継続マネジメント（BCM）の見直しを適時に行った。

とりわけ、新型コロナ感染症に関しては、オミクロン株による急速な感染拡大にあたり、その感染力の強さから、「より多くの感染者に施設内で対応していくこと」を前提として、施設のゾーニングや運営体制などを中心とした対応計画を急ぎ策定した。

(3) 地域との連携強化

ふれあい盆踊り、しぞ〜かでん伝体操を始め、地域住民を招いた各種イベントは、新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止とした。

(4) 利用者サービスの質的向上に努める。

利用者の高齢化、疾病、重度化など多様化する利用者形態をふまえ、一人ひとりのニーズに合わせたサービスを計画、実施し利用者サービスの質的向上に努めた。

(5) 防災対策の強化

ア 防災委員会、防災訓練（地震、火災、水害等）を、静岡市救護所と合同で開催し、連携強化に努めた。

（特に、水害を想定し、施設に2階を持たない救護所入所者を老人ホーム2階集会室へ避難誘導する訓練は、両施設連携の重要性を確信させた）

イ 発災時の職員の被災状況を確認する安否確認システム（安否コール）を活用した情報伝達訓練を実施した。訓練を重ねる中で、職員の防災意識とシステム理解が向上し、安否確認がスムーズに行えるようになっており、発災時には有効活用できるものと考えている。

2 職員数

単位：（人）

職 名	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
ホーム長	1		1	1		1
次長兼生活相談課長	1		1	1		1
支援課長兼主幹生活相談員		1	1		1	1
主任生活相談員	1		1	1		1
生活相談員		1	1		1	1
主幹支援員		1	1		1	1
主任支援員	1	1	2	1	1	2
副主任支援員		1	1		2	2
支援員	2	2	4	2	1	3
契約支援員		6	6	1	6	7
契約宿直員		3	3		2	2
看護師		2	2		2	2
契約看護師		1	1		1	1
主任栄養士		1	1			
栄養士					1	1
副主任調理員				1		1
調理員	1	2	3		2	2
契約調理員		1	1			
主幹事務員					1	1
事務員		1	1			
契約事務員		1	1		1	1
嘱託医	2		2	2		2
計	9	25	34	10	23	33

3 施設整備

項 目	内 容
誘導灯の交換	消防設備等点検で誘導灯の不良があったため
貯水槽自動給水設備修繕	貯水槽自動給水設備のバルブ、ボールタップの交換、自動給水弁の分解整備
防火シャッター制御盤の修繕	消防設備等点検で防火シャッターの不良があったため
浄化槽制御盤修繕	浄化槽制御盤操作電源ブレーカー等の修繕
エアコン修繕	エアコン室外機のコンプレッサー交換
給湯用ボイラー修繕	給湯用ボイラーのバーナー、コントローラーの交換
浄化槽制御盤・機械室の塗装修繕	経年劣化による塗装の修繕
食器消毒保管庫の交換	設置から20年たち経年劣化のため
消火器の購入	館内消火器の設計標準使用期限が切れるため交換
防火シャッター修繕	防火シャッターの自動開閉器等の交換
マットレスの購入	畳ベッド用マットレスの購入

4 職員研修(年間)

単位：(人) (日)

職部門	研修内容	主催者等	参加人数	出席日数
管理職	身体拘束は廃止できます(※)	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉施設人事・労務管理研修会(※)	県社会福祉協議会	1	1
	安全運転管理者講習	県安全運転管理協会	1	1
	福祉サービス苦情解決研修会(※)	県社会福祉協議会	1	1
	リスクマネジメント研修会(※)	県社会福祉協議会	1	1
	介護現場における高齢者虐待の予防と対応(※)	県社会福祉協議会	1	1

生活 相談員	相談員のための支援力アップ講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	介護施設における安全対策担当者養成研修 (※)	全国老人福祉施設協議 会	1	1
	介護記録の書き方・活かし方講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	感染症講座(中級編) (※)	県社会福祉協議会	1	1
	全国地域生活定着支援センター関東・甲信 越ブロック研修会 (※)	全国地域生活定着支援 センター関東・甲信越 ブロック	1	1
	福祉職員のための成年後見制度理解と活用 セミナー (※)	県社会福祉協議会	1	2
	社会福祉施設・事業所のBCP(事業継続 計画)実践編 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	相談員のための支援力アップ講座(実践編) (※)	県社会福祉協議会	1	1
	高齢者施設のリスクマネジメント講座(※) リスクマネジメント講座(防災・防犯編) (※)	県社会福祉協議会 県社会福祉協議会	1 1	1 1
支援員	人手不足を正しく分析しよう～何人雇って も足りない理由 (※)	県社会福祉協議会	2	1
	コーチング研修 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	福祉職員のメンタルヘルス講座 (※)	県社会福祉協議会	2	1
	褥瘡予防の基本～体圧分散管理とポジショ ニングを学ぼう～ (※)	県社会福祉協議会	2	1
	排泄ケア web セミナー (※)	県社会福祉協議会	1	1
	接遇マナー研修会 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	第 56 回関東ブロック老人福祉施設研究総 会 (※)	関東ブロック老人福祉 施設連絡協議会	2	1
	身体拘束は廃止できます (※)	県社会福祉協議会	1	1
	介護記録の書き方・活かし方講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	「動きだしは本人から」の介護実践研修 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	共感を得る「ことば」講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	介護のための薬の基礎講座 (※)	県社会福祉協議会	2	1

	急変を見逃さないための救急講座 (※)	県社会福祉協議会	2	1
	業務の定着化を図る「教え方」講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	感染症講座 (中級編) (※)	県社会福祉協議会	1	1
	車いすメンテナンスセミナー	県社会福祉協議会	1	1
	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー (※)	県社会福祉協議会	1	1
	高齢者の転倒予防講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉施設・事業所のBCP(事業継続計画)実践編 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	精神疾患の理解 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	介護現場における高齢者虐待の予防と対応 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	高齢者施設のリスクマネジメント講座(※)	県社会福祉協議会	1	1
	介護職員が知っておきたい利用者の身体観察のポイント (※)	県社会福祉協議会	1	1
看護師	中部地区養護老人ホーム看護職研修会 (書面)	中部地区養護老人ホーム	1	1
栄養士 調理員	静岡県給食協会講演会 (※)	静岡県給食協会	2	1
	中部地区養護老人ホーム栄養士研修会(※)	中部地区養護老人ホーム	1	1
	接遇マナー研修会 (※)	県社会福祉協議会	1	1
事務員	中部地区養護老人ホーム事務員研修会 (書面)	中部地区養護老人ホーム	1	1
	社会福祉法人施設事務職員経理応用講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉法人予算管理講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉法人決算事務講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	計		54	48

(※) 新型コロナウイルス感染防止対策のためリモート研修

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備考
健康診断（35歳以下）	年 1回	市医師会	3人	
成人病検査（一般）	年 1回	市医師会	21人	
夜勤者等健診（腰痛検診含む）	年 1回	市医師会	23人	夜勤従事職員等
婦人科検診	隔年1回	市医師会	10人	対象者
ストレスチェック	年 1回	聖隷健康サポートセンター	34人	
検便（赤痢菌・サルモネラ菌・ O-157）	毎月1回	（株）マルマ	28人	栄養士・調理員 相談員・支援員 看護師

6 施設利用人員

【定員：120人】

単位：（人）

	男	女	計
令和3年度当初	35	48	83
入所者	11	12	23
退所者	13	11	24
令和3年度末	33	49	82

7 施設入所理由

単位：（人）

理由	当年（※）	全員
家庭事情〔虐待〕	6	18
家庭事情〔虐待以外〕	14	39
高齢独居のため	3	25
計	23	82

（※）当年は、令和3年度に入所した人

8 施設退所理由

単位：（人）

理 由	人 数
特別養護老人ホーム・老人病院等へ転出	19
死亡	4
在宅	1
計	24

9 利用者の年齢(令和4年3月31日)

60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	90歳 以上	計	平均年齢	最高年齢
4人	29人	38人	11人	82人	81歳 8か月	98歳 2か月

10 利用者の在所要年数(令和4年3月31日)

2年未満	2～4年	5～9年	10年以上	計	平均年数	最高年数
33人	26人	12人	11人	82人	4年 7か月	24年

11 利用者の健康状況(令和4年3月31日)

(1) 概 観

単位：（人）

健 康	病 弱 (※)	入院中	計
2	80	0	82

(※) 病弱は何らかの病気で通院中の人を含む

(2) 介護保険認定者

単位：（人）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
1	4	11	6	4	2	1	29

(3) 介護保険サービス利用状況

サービスの種類	利用人数/月	利用回数計/月
訪問介護サービス（ヘルパー）	16人	(※1)
通所介護サービス（デイサービス）	0人	(※2)

(※1) 新型コロナウイルス陽性者が出たため3月から一時中止

(※2) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(4) 障害手帳所持者

単位：（人）

身体障害者手帳	障害者手帳(精神)	療育手帳(知的)	計
7	5	1	13 (重複者を含む)
1級(0) 2級(1) 3級(4) 4級(0) 5級(1) 6級(1)	1級(1) 2級(3) 3級(1)	A(0) B(1)	身体+精神(0)

12 利用者の健康診断状況

実施時期	内 容	備 考
4月、6月	健康診断（聴診・血液検査・胸部レントゲン検査・心電図・尿検査）	静岡済生会健康管理センター
7月	新型コロナウイルスワクチン接種 （1回目・2回目）	とやまクリニック（外山医師）
10月	健康診断（聴診・血液検査・胸部レントゲン検査・心電図・尿検査）	静岡済生会健康管理センター
10月	インフルエンザワクチン接種	とやまクリニック（外山医師）
2月	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）	とやまクリニック（外山医師）

13 利用者へのサービス状況

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員集会 (利用者へ行事等の連絡、意見交換) ・ 健康管理 (体重・血圧測定) ・ 嘱託医診察 (内科、循環器内科・心療内科) ・ ラジオ体操、老人体操、ウォーキング ・ 喫茶 (おやつ、お茶の提供) ・ 誕生会 ・ クラブ活動 (カラオケ) ・ レクリエーション (映画上映会・陽だまりサロン) ・ しぞ〜かでん伝体操 ・ 娯楽 (新聞、雑誌、ビデオ鑑賞) ・ 生活支援 (菓子、果物、日用品の販売、理美容) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員会議 ・ サービス検討会議 ・ 支援員会議 ・ 調理ミーティング ・ 食事研究委員会 ・ ケアプラン検討会議 ・ 防火管理委員会 ・ 感染対策委員会 ・ 施設安全管理委員会 ・ 身体拘束等廃止委員会 ・ 苦情相談第三者委員会 ・ 救護所静老施設移行検討会 ・ 防災訓練、避難訓練 ・ 老人相談事業 ・ 葵、駿河福祉事務所情報交換会 ・ 慰問、ボランティアの受け入れ ・ 実習生、体験学習の受け入れ

(2) クラブ活動、レクリエーション等(年間)

クラブ名	講 師	回数 (回)	参加人員 (人)	備 考
カラオケクラブ	支 援 員	5	108	R3・10から再開
コーラスクラブ	小澤久美子	12	(※)	
陽だまりサロン	支 援 員	23	199	R4・3中止
映画上映会	支 援 員	12	591	
しぞ〜かでん伝体操	支 援 員	49	1670	地域の参加は中止
レクリエーション大会	支 援 員	3	190	
計		104	2758	

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(3) ボランティア受け入れ、慰問等

奉仕内容	奉仕者	回数(回)	延人数(人)
ふれあい盆踊り	南藁科地区社会福祉協議会	(※)	
ふれあい運動会	光の会	(※)	
バス旅行	南藁科地区社会福祉協議会	(※)	
花の日訪問	英和女学院	(※)	
クリスマス訪問	英和女学院	(※)	
クリスマス訪問	雙葉学園子羊会	(※)	
そば慰問	東海軒	(※)	
交流会	小鹿こども園	(※)	
	藁科こども園	(※)	

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(4) 実習生の受け入れ

単位：(人)

学校名	期間	内容	人員	延人数
静岡福祉大学	2月14日～2月28日	介護福祉士実習	2	20

(5) お楽しみ外出・ウォーク・ドライブ外出

実施日	旅行先	備考
4月13日	さくらウォーク①(施設周辺の散策)	
20日	さくらウォーク②(施設周辺の散策)	
5月11日	さつきウォーク①(施設周辺の散策)	
18日	さつきウォーク②(施設周辺の散策)	
27日	さつきウォーク③(施設周辺の散策)	
6月15日	あじさいウォーク①(施設周辺の散策)	
24日	あじさいウォーク②(施設周辺の散策)	
7月13日	ひまわりウォーク①(施設周辺の散策)	
20日	お楽しみ外出①(地域ドライブ)	
29日	お楽しみ外出②(地域ドライブ)	
8月17日	お楽しみ外出③(地域ドライブ)	
10月12日	お楽しみ外出④(地域ドライブ)	
26日	お楽しみ外出⑤(地域ドライブ)	
11月16日	お楽しみ外出⑥(地域ドライブ)	
25日	お楽しみ外出⑦(地域ドライブ)	
12月14日	お楽しみ外出⑧(地域ドライブ)	

(6) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想定時間帯	訓練内容
4月20日	火災想定	夜間	避難誘導訓練
4月22日	地震想定	平日午後	消防設備の取り扱い訓練（救護所と合同実施）
5月12日	火災想定	夜間	非常連絡網による情報伝達訓練
5月20日	火災想定	夜間	避難誘導訓練
6月17日	地震想定	平日午前	安否コールによる情報伝達訓練
6月18日	火災想定	夜間	避難誘導訓練
7月15日	水害想定	平日午後	水害を想定した災害本部立ち上げ訓練（救護所と合同実施） 2階へ避難誘導訓練（救護所と合同実施）
8月19日	火災想定	休日午後	避難誘導訓練
9月1日	地震想定	平日午前	地震を想定した災害本部立ち上げ訓練（救護所と合同実施）及び非常食炊き出し訓練
	火災想定	平日午後	厨房より出火、支援員による避難誘導訓練
9月9日	火災想定	平日午後	水消火器を使用した消火訓練
10月19日	火災想定	夜間	避難誘導訓練
11月1日	地震想定	平日午前	非常炊き出し訓練及びAED研修
	火災想定	夜間	避難誘導訓練
12月14日	火災想定	平日午後	支援員による避難誘導訓練
1月20日	火災想定	平日午後	支援員による避難誘導訓練
2月17日	地震想定	平日午前	法人全体のBCP総合訓練（救護所と合同実施）
	火災想定	夜間	避難誘導訓練
3月29日	火災想定	夜間	避難誘導訓練

14 敬老週間の行事

実施日	行事名	内容
9月7日	敬老の日祝典	利用者を敬愛し長寿を祝う。(※) ・長寿祝（90歳以上） 15人 ・米寿祝 4人 ・傘寿祝 4人
9月21日	無憂塔参拝	愛宕霊園内の協会墓地（無憂塔）への参拝

(※) 来賓の招待は、新型コロナウイルス感染防止のため中止

15 季節的行事

月	行 事 内 容
4	13日、20日 定期健康診断 13日 さくらウォーク①（施設周辺散策、おやつ提供） 20日 さくらウォーク②
5	5日 端午の節句飾り 11日 さつきウォーク① 18日 さつきウォーク② 25日 レクリエーション大会①（全身を使った歌、体操、ゲーム大会） 27日 さつきウォーク③
6	1日 ふれあい屋台村（地域の方の参加は中止） 15日 あじさいウォーク① 24日 あじさいウォーク②
7	1日 盆供養・物故者慰霊祭（職員のみ参加） 6日 無憂塔墓参①（職員のみ参加） 7日 七夕飾り 13日 ひまわりウォーク① 20日 お楽しみ外出①（ドライブ、おやつ提供） 29日 お楽しみ外出②
8	3日 ふれあい盆踊り（※） 夏祭りだよ 全員集合 Part 2！ （ふれあい盆踊り代替え行事、カラオケ大会、盆踊りの雰囲気を感じるおやつ等を提供） 17日 お楽しみ外出③
9	1日 総合防災訓練 7日 敬老式典（来賓の参加は中止） 14日 レクリエーション大会②（全身を使った歌、体操、ゲーム大会） 21日 無憂塔墓参②（職員のみ参加）
10	6日 ふれあい運動会（※） 12日 お楽しみ外出④ 12日、19日 定期健康診断 19日 寿司バイキング（好きなお寿司を選択する食事会） 21日 ドライブ外出①（市内名所ドライブとおやつ提供） 26日 お楽しみ外出⑤ 28日 ドライブ外出②
11	16日 お楽しみ外出⑥ 25日 お楽しみ外出⑦ 30日 レクリエーション大会③（全身を使った歌、体操、ゲーム大会）

1 2	2日 東海軒そば慰問（訪問は中止、そばの寄付を受ける） 14日 お楽しみ外出⑧ 21日 クリスマス・忘年会
1	感染予防強化月間のため行事計画なし
2	3日 節分豆まき 22日 いちごフェア（いちごを使ったデザートを楽しむ） 24日 買い物市（寝具マットレス配布）
3	3日 ひな祭り 17日 無憂塔墓参（職員のみ参加）*施設内感染中の為中止

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

16 地域交流活動

(1) 地域ふれあい事業

事業の内容	時 期	場 所	参 加 者
ふれあい屋台村	6月	老人ホーム食堂	(※)
ふれあい盆踊り	8月	老人ホーム駐車場	(※)
ふれあい運動会	10月	わらしな学園 グラウンド	(※)
南藁科地区公共施設 連絡懇話会	隔月 第1火曜日	各施設持ち回り	南藁科学区自治会連合会会長、 産女駐在所長、南藁科小学校 長、藁科こども園長、吉津園理 事長、静岡老人ホーム長、静岡 市救護所長、わらしな学園長 (※)
交通事故ゼロの日該 当キャンペーン	「0」の付く日	ふれあい橋前 横断歩道	(※)

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(2) 集会室利用提供事業

利用場所	利 用 者	利用回数(回)	利用延人数(人)	内 容
集会室	南藁科地区社会福祉推進協議会 南藁科学区自治会連合会	0	(※)	総会

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため総会中止

17 ショートステイ等の事業(年間)

(1) ショートステイ

単位：(人)(日)

年度別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用人数	43	46	66	65	50
利用延日数	2840	2112	3683	4412	3897

(2) 老人福祉相談事業

単位：(件)

来所	電話	計
0	5	5

18 社会福祉充実計画実績

平成30年度に記録管理システム「CAREKARTE」を導入したことにより、利用者の状態、変化等の情報を各部署間でリアルタイムに共有することができ、利用者一人ひとりの状態に合わせたサービスを速やかに提供することができるようになった。

また、利用者の記録を日誌等へ活用することが可能となり、事務の省力化を図ることができた。

- ・記録管理システム「CAREKARTE」システムサポート委託業務
- ・記録管理システム「CAREKARTE」データセンターサービス利用業務

当該システムを導入した結果、日誌等へのパソコン入力が可能となり、業務の短縮や職員間で利用者情報をより一層共有することができるようになった。

19 苦情相談解決結果

該当なし

20 その他

- ・利用者の生活の四季を4Kカメラで撮影し、記録化することを開始した。
(1年分の映像を年末の入所者の集まりで上映した。)

ヘルパーステーション白寿

1 主要事業報告

(1) 主要事業報告

ア ケアプランに基づいた適切な訪問介護サービスを提供し、個々の能力に応じて自立した日常生活が営めるよう努めた。また、利用者の人権を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めた。

イ 利用者の状態等をケアマネージャーへ報告し、関係事業所等との連携に努めた。

(2) 新型コロナウイルス対応

ア 年間を通して、出勤前、帰宅後の検温実施・手洗い・消毒マスク着用を行った。職場外でも換気が悪く、人が密に集まる場所は避けるなどの対応を徹底。

イ 施設利用者と在宅利用者を担当するヘルパーを分けて、感染防止に努めた。

2 職員数

(単位 人)

職名	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
所長兼管理者	(1)		(1)	(1)		(1)
主任訪問介護員		(1)	(1)		(1)	(1)
サービス提供責任者 兼訪問介護員		1	1		1	1
登録ヘルパー		7	7		7	7
事務員	(1)		(1)	(1)		(1)
計	(2)	8 (1)	8 (3)	(2)	8 (1)	8 (3)

() は外数

3 施設整備

該当なし

4 職員の研修等〈年間〉

(人) (日)

職部門	研修内容	主催者等	参加人員	出席日数
サービス提供 責任者兼 訪問介護員	令和3年度介護保険サービス提供 事業者説明会（集団指導）	市介護保険課	1	1
	令和3年度障害福祉サービス事業 所等集団指導	市障害者支援推進課	1	1
計			2	2

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備考
成人病検査（一般）	年1回	市医師会他	8人	
ストレスチェック	年1回	聖隷健康サポートセンター	8人	

6 利用者へのサービス状況

(1) 介護保険サービス

ア 利用者数と訪問状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	
利用人数（人）	28	29	29	30	28	29	
訪問回数（回）	649	765	703	746	748	671	
訪問時間（時間）	427	494.75	466.25	492	509.5	446.5	
区分 \ 月	10	11	12	1	2	3	計
利用人数（人）	26	26	25	27	23	24	324
訪問回数（回）	652	588	612	624	538	201	7,497
訪問時間（時間）	428.5	393	416	421.5	363.75	140.25	4,999

イ サービス別利用状況表

(介護給付費単位)

月 区分	4	5	6	7	8	9		
身体介護	188,767	185,847	206,510	219,396	211,537	198,146		
身体生活	0	0	0	0	0	0		
生活援助	1,952	2,154	2,965	1,622	2,026	1,622		
予防介護	6,624	6,624	5,882	5,198	4,273	4,273		
計	197,343	194,625	215,357	226,216	217,836	204,041		
月 区分	10	11	12	1	2	3	合計	
身体介護	194,977	176,282	186,442	187,680	165,843	58,647	2,180,074	
身体生活	0	0	0	0	0	0	0	
生活援助	1,620	2,024	1,620	1,620	404	1,012	20,641	
予防介護	4,269	3,756	3,093	3,093	2,352	3,093	52,530	
計	200,866	182,062	191,155	192,393	168,599	62,752	2,253,245	

(2) 障害福祉サービス

ア 利用者数と訪問状況

月 区分	4	5	6	7	8	9		
利用人数(人)	1	1	0	0	1	1		
訪問回数(回)	3	5	0	0	3	3		
訪問時間(時間)	1.5	2.5	0	0	1.5	1.5		
月 区分	10	11	12	1	2	3	計	
利用人数(人)	1	1	1	1	1	1	10	
訪問回数(回)	5	3	3	4	3	3	35	
訪問時間(時間)	2.5	1.5	1.5	2	1.5	1.5	17.5	

イ サービス別利用状況表

(介護給付費単位)

月 区分	4	5	6	7	8	9	
身体介護	0	0	0	0	0	0	
家事援助	316	526	0	0	316	316	
計	316	526	0	0	316	316	
月 区分	10	11	12	1	2	3	合計
身体介護	0	0	0	0	0	0	0
家事援助	525	315	315	420	315	315	3,679
計	525	315	315	420	315	315	3,679

7 年齢別介護度別利用者数 (令和4年3月31日)

(1) 介護保険サービス

単位：(人)

介護度 年齢	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
65歳～69歳							1		1
70歳～74歳						1			1
75歳～79歳			1	1	1	1			4
80歳～84歳				2		1			3
85歳～89歳		1	1	4	2	1	1		10
90歳～94歳				1	1		1	1	4
95歳～99歳						1			1
100歳以上									
計		1	2	8	4	5	3	1	24

平均年齢 84.95歳

(2) 障害福祉サービス

単位：(人)

障害区分 年 齢	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
50 歳～54 歳							
55 歳～59 歳			1				1
60 歳～64 歳							
65 歳～69 歳							
計			1				1

平均年齢 59 歳

8 苦情相談解決結果

該 当 な し

静岡市救護所

1 主要事業報告

(1) 感染対策の強化

ア 新型コロナウイルス感染症に備え、『職員対応方針』、『利用者対応方針』、『感染症発生時対応マニュアル』を随時見直し、職員間の共通認識を図るとともに、感染防止対策を徹底した。

イ 職員、利用者においては、新型コロナウイルスへの感染者はいなかった。
職員、利用者とも、手洗い、消毒、不織布マスクの着用、換気等の感染を予防する生活習慣の確立に努めるとともに、一日2回の検温等の健康観察、所内のドアノブ、手すり等の消毒を実施した。

ウ 新型コロナウイルスワクチン接種については、3月末までに全職員が3回実施した。
また、利用者については、接種時期に達していない5名を除き、緊急一時保護者1名を含む50名中45名が3回実施した。

エ 看護師によるガウンテクニックや嘔吐物処理の研修、業者による手洗い指導を行い、新型コロナウイルスだけではなく、インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症の対策にも努めた。

(2) 防災対策の強化

ア 地震、台風等の自然災害に備え、大雨災害（水害・土砂災害）時の職員参集体制と地震・火災時の職員参集体制を確立した。また、BCP研修に職員2名を派遣するなど、職員個々の防災力強化に取り組んだ。

イ 災害時に少人数の職員で対応が可能なレトルトパック等を使用した備蓄食料への変更を図った。

ウ 長期停電時の通信手段、情報収集に必要不可欠な携帯電話、パソコン等の電源確保のため、ソーラーパネル、蓄電池を各1台購入した。

(3) 事故防止対策の強化

毎月1回施設安全管理委員会を開催し、事故発生時の対応の検証を行い、施設全体で検証結果を共有することにより、利用者が安全で安心できる環境づくりに努めた。

2 職員数

単位：（人）

職名	令和3年度当初		令和4年度当初			
	男	女	計	男	女	計
所長	1		1	1		1
次長兼指導課長	1		1			
指導課長				1		1
主幹介護職員				1		1
主任介護職員	1	1	2		1	1
副主任介護職員	1	1	2	2	1	3
介護職員	3	2	5	2	2	4
契約介護職員		2	2		2	2
看護師		1	1		1	1
主任栄養士					1	1
栄養士		1	1			
副主任調理員	1		1	1		1
調理員	1	1	2	1	1	2
契約調理員		3	3		3	3
事務員		1	1		1	1
嘱託医	2		2	2		2
計	11	13	24	11	13	24

3 施設整備

項目	内容
給湯ボイラー熱交換器取替	給湯温度が低く、利用者の入浴、清拭等の清潔保持に影響があったため、熱交換器を新しい物に取り替えた。
介護職員室シャッター修繕	設置から20年が経過し、経年劣化により電動開閉機が故障しシャッターの開閉ができなくなったため、修繕を実施した。
厨房食器消毒保管庫購入	厨房内で使用するザル、ボール等を食器消毒保管庫で保管することにより衛生面の強化を図った。

4 職員研修（年間）

単位：（人）（日）

職部門	研修内容	主催者等	参加人数	出席日数
管理職	第1回静岡県救護更生施設連絡協議会（※）	県救護更生施設連絡協議会	1	1
	第2回静岡県救護更生施設連絡協議会（※）	県救護更生施設連絡協議会	1	1
	第3回静岡県救護更生施設連絡協議会（※）	県救護更生施設連絡協議会	1	1
介護職員	新規採用職員研修1	厚生事業協会	1	1
	新規採用職員研修	救護所	1	1
	社会福祉士実習指導フォローアップ講習会（※）	県社会福祉士会	1	1
	B C P作成研修～感染症編～（※）	あいおいニッセイ同和損保	2	1
	急変を見逃さないための救急講座（※）	県社会福祉協議会	1	1
	静岡県救護施設指導員研修会（※）	県救護更生施設連絡協議会	1	1
	静岡県救護施設個別支援研修会（※）	県救護更生施設連絡協議会	1	1
	静岡県救護施設介護職員研修会（※）	県救護更生施設連絡協議会	1	1
関東甲信越ブロック研修（※）	全国救護更生施設連絡協議会	1	1	
看護師	静岡県救護施設看護師研修会（※）	県救護更生施設連絡協議会	1	1
栄養士	静岡県救護施設栄養士研修会（※）	県救護更生施設連絡協議会	1	1
調理員	第1回調理技術研修会（※）	静岡県給食協会静岡支部	1	1
事務員	社会福祉法人施設事務職員「経理応用講座」（※）	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉法人施設事務職員「決算実務講座」（※）	県社会福祉協議会	1	2
	計		18	18

（※）新型コロナウイルス感染防止対策のためリモート研修

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備考
健康診断（35歳以下）	年 1回	市医師会	8人	
成人病検査（一般）	年 1回	市医師会	14人	
夜勤者健診（腰痛検査含む）	年 2回	市医師会	9人	夜勤従事職員
婦人科検診	隔年1回	市医師会	4人	
ストレスチェック	年 1回	聖隷健康サポートセンター	22人	
検便（赤痢菌・サルモネラ菌・O-157）	毎月1回	(株) マルマ	19人	介護職員・看護師 栄養士・調理員

6 施設利用人員

【定員：50人】

単位：（人）

	男	女	計
令和3年度当初	30	19	49
入所者	3	4	7
退所者	4	3	7
令和3年度末	29	20	49

7 施設入所理由

単位：（人）

理由	男	女	計
扶養義務者が死亡等により単身生活困難	1	4	5
病弱（障害を含む）のため単身生活困難	4	6	10
他施設（病院を含む）より転入	20	9	29
ホームレス	4	1	5
計	29	20	49

8 施設退所理由

単位：（人）

理由	男	女	計
他施設（病院を含む）へ転出	4	3	7

9 利用者の年齢（令和4年3月31日）

20～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	計	平均年齢	最高年齢
1人	7人	7人	17人	14人	3人	49人	62歳 4か月	88歳 2か月

10 利用者の在所年数（令和4年3月31日）

2年未満	2～4年	5～9年	10～ 19年	20年 以上	計	平均年数	最高年数
11人	14人	5人	9人	10人	49人	10年 7か月	38年 9か月

11 利用者の健康状況（令和4年3月31日）

(1) 概観

単位：（人）

健康	車椅子	U字 歩行器	シルバー カー	病弱	寝たきり	入院中	計
47	2	0	0	0	0	0	49

(2) 障害手帳所持者

単位：（人）

身体障害者手帳	障害者手帳（精神）	療育手帳（知的）	計
6	14	10	30 (内重複所持者5)
1級(0) 2級(2) 3級(2) 4級(1) 5級(0) 6級(1)	1級(1) 2級(11) 3級(2)	A(3) B(7)	身体+療育(重複1) 身体+精神(重複2) 精神+療育(重複2)

12 利用者の健康診断状況

実施時期	内 容	備 考
4月	健康診断（聴診・血液検査・胸部レントゲン検査・心電図・尿検査）	静岡済生会健康管理センター
6月	新型コロナウイルスワクチン接種（1回目）	とやまクリニック（外山医師）
7月	新型コロナウイルスワクチン接種（2回目）	とやまクリニック（外山医師）
9月	歯科検診（※）	市歯科医師会
10月	健康診断（聴診・血液検査・胸部レントゲン検査・心電図・尿検査）	静岡済生会健康管理センター
11月 12月	インフルエンザワクチン接種	とやまクリニック（外山医師）
1月	眼科検診（精密眼底検査、細隙灯顕微鏡検査）	静岡済生会健康管理センター
2月	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目） 歯科検診（※）	とやまクリニック（外山医師） 市歯科医師会

（※）新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置期間中のため中止

13 利用者へのサービス状況

（1）定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
<ul style="list-style-type: none"> ・作業（菓子店等の紙の手提げ袋の袋貼り） ・機能回復訓練（月2回/講師による体操）（※） ・クラブ活動 （生花（※）、音楽療法（※）、ヨガ（※）、カラオケ、料理） ・誕生会（昼食時に誕生会メニューの提供及び祝金の贈呈） ・おやつ提供（毎週日曜日） ・全員集会（利用者との意見交換会（4月、7月、10月、1月）） ・ラジオ体操、老人体操、ウォーキング ・娯楽（新聞、雑誌、マンガ、DVD） ・グループ外出（小グループでの買い物等）（※） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 ・主任者会議 ・介護職員会議 ・処遇会議 ・保健給食会議 ・防災委員会 ・施設安全管理委員会 ・感染対策委員会（随時） ・身体拘束等廃止委員会（随時） ・静岡老人ホーム、静岡市救護所施設移行検討会 ・苦情相談第三者委員会 ・防災訓練、避難誘導訓練 ・慰問、ボランティアの受け入れ ・実習生の受け入れ

（※）新型コロナウイルス感染防止のため中止

(2) 機能回復訓練 (年間)

内 容	講 師	回 数	参加人員
リフレッシュ体操	遠 藤 吉 彦	(※)	

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(3) クラブ活動 (年間)

クラブ名	講 師	回 数 (回)	参加人員 (人)
生 花	杉 山 和 枝 (池坊静岡支部所属)	(※)	
音楽療法	小 林 珠 美	(※)	
ヨ ガ	佐 藤 由美子	(※)	
カラオケ	介 護 職 員	8	5 2
料 理	栄養士・調理員	4	3 0
計		1 2	8 2

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(4) ボランティア受け入れ、慰問等

奉 仕 内 容	奉 仕 者	回 数 (回)	延人数 (人)
理容ボランティア	P. T. P (people to people) 人と人 (市内美容師 4 人)	9	2 7
花の日訪問	静岡英和女学院	(※)	
クリスマス訪問	静岡英和女学院	(※)	
クリスマス訪問	静岡雙葉学園子羊会	(※)	
日帰りレクリエーション	南藁科地区社会福祉協議会	(※)	
ふれあい盆踊り	南藁科地区社会福祉協議会	(※)	
ふれあい運動会	光の会	(※)	
そば慰問	東海軒	(※)	

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(5) 実習生の受け入れ

単位：(人)

学 校 名	期 間	内 容	人 員	延人数
静岡福祉医療専門学校	令和3年7月26日～ 9月 9日	相談援助実習	1	12
静岡福祉大学	令和3年8月16日～ 8月19日	相談援助実習	1	4
静岡県立大学短期大学部	令和3年8月17日～11月21日	相談援助実習	1	13
静岡福祉医療専門学校	令和3年12月1日～12月16日	相談援助実習	1	15
静岡県立大学短期大学部	令和4年3月23日～ 3月30日	相談援助実習	1	6
計			5	50

(6) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想 定 時間帯	訓 練 内 容
4月17日 18日	地震想定	午 前 午 後	救護所内の倉庫及び防災倉庫の防災用品の確認 救護所内の倉庫及び防災倉庫の防災用品の確認
4月22日	地震想定	午 後	消防設備取り扱い訓練 (静岡老人ホームと合同)
5月20日	火災想定	夜 間	職員連絡網による情報伝達訓練
6月17日	地震想定	午 前	避難誘導訓練 放送伝達訓練
7月15日	水害想定	午 後	水害を想定した災害本部立ち上げ訓練 (静岡老人ホームと合同) 2階集会室への垂直避難誘導訓練
7月21日	火災想定	夜 間	火災発生時の夜勤者対応訓練
8月19日	地震想定	午 後	簡易テント設営、発電機起動、照明機器起動訓練
9月 1日	地震想定	午 前	災害本部立ち上げ訓練 (静岡老人ホームと合同) 避難誘導訓練 非常食炊き出し訓練
10月21日	地震・火災 想定	午 後	避難誘導訓練 放送伝達訓練 初期消火訓練
11月 1日	地震・火災 想定	午 前 午 後	AED取り扱い訓練 (静岡老人ホームと合同) 非常炊き出し訓練 避難誘導訓練 放送伝達訓練 初期消火訓練
12月16日	地震想定	午 後	救命処置の手順の確認と実践 (心肺蘇生法、AED) 発電機起動訓練
1月20日	地震想定	午 前	避難誘導訓練
2月17日	地震想定 火災想定	午 前 夜 間	法人BCP訓練 (静岡老人ホームと合同) 避難誘導訓練 放送伝達訓練 初期消火訓練
3月17日	火災想定	夜 間	避難誘導訓練 放送伝達訓練 初期消火訓練

14 季節的行事

月	行事内容
5月	5日 端午の節句
6月	日帰りレクリエーション (※) 1日 模擬店 (お弁当、デザート、ケーキ、飲み物) 8日 季節のフルーツを楽しむ会① (アメリカンチェリー、ゴールドキウイの盛り合わせ提供)
7月	家族会 (※) 1日 盆供養 (職員のみ参加) 7日 七夕飾り
8月	ふれあい盆踊り (※) 3日 納涼屋台祭り (ふれあい盆踊り代替行事) 17日 納涼かき氷祭り 希望者盆帰省 (※)
9月	敬老会 (※) 14日 季節のフルーツを楽しむ会② (シャインマスカットの盛り合わせ提供)
10月	ふれあい運動会 (※)
11月	1日 『社会福祉施設防災の日』 防災訓練 28日 季節のフルーツを楽しむ会③ (ラ・フランス、巨峰、シナノスマイルの盛り合わせ提供)
12月	21日 クリスマス会 希望者正月帰省 (※)
1月	13日 初詣 (館内)
2月	4日 節分行事 (豆まき) 15日 季節のデザートを楽しむ会④ (メロン、いちごの盛り合わせ提供)
3月	3日 ひな祭り

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

15 地域交流活動

(1) 地域ふれあい事業

事業の内容	時 期	場 所	参加者
ふれあい盆踊り	8月	老人ホーム駐車場	(※)
ふれあい運動会	10月	わらしな学園 グラウンド	(※)
南藁科地区公共施設 連絡懇話会・ 産女駐在所連絡協議会	隔月 第1火曜日	各施設持ち回り	南藁科学区自治会連合会長 南藁科小学校長、藁科こども園長 吉津園理事長、静岡老人ホーム長 わらしな学園長、静岡市救護所長 産女駐在所長 (※)
交通事故ゼロの日 街頭キャンペーン	「0」のつく日	ふれあい橋前 横断歩道	(※)

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(2) 集会室利用提供事業

利用場所	利 用 者	利用回数 (回)	利用延人数(人)	内 容
集会室	南藁科地区社会福祉推進協議会 南藁科学区自治会連合会	0回	(※)	総会

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため総会中止

16 緊急一時保護事業 (年間)

単位： (人)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用人数	6	5	7	11	5
利用延人数	98	91	140	307	371

17 社会福祉充実計画実績

平成30年度、記録業務の省力化、部署間の情報共有を進め、利用者サービスをより向上させるため導入した、記録管理システム「CAREKARTE」のシステム維持管理とデータ保管管理のため下記の事業を実施した。

- ・記録管理システム「CAREKARTE」システムサポート委託業務
- ・記録管理システム「CAREKARTE」データセンターサービス利用業務

当該システムを導入した結果、業務の短縮や利用者の通院状況等の検索抽出ができるようになったことから、職員間で利用者情報をより一層共有できるようになった。

18 苦情相談解決結果

静岡市救護所で令和3年4月1日から令和4年3月31日までに受け付けた苦情内容及び解決結果について公表します。

苦情内容を真摯に受け止め、より良い施設運営に役立てていきます。

苦情内容及び改善結果報告		
苦 情		
1	項 目	救護所利用者が近隣住民宅のミカンを盗ったことに対する苦情
	苦情内容	令和3年11月25日午前10時頃、近隣住民から「救護所の利用者がみかんを盗った。本人もここ（飯間）にいるので、すぐ来てほしい。」と電話連絡がある。
	解決方法	所長、主任介護職員が連絡のあった住民宅へ謝罪に行く。 救護所に戻り本人から事実確認をするが、「ミカンは盗っていない。」「3か月間は散歩に行かない。」というばかりであったが、他利用者から日常的にミカンを盗って食べていることを指摘されると、「ミカンを盗った。」と事実を認める。 常習性が確認できたため、担当福祉事務所と対応を協議した結果、当救護所を利用するにはそぐわないこととなり、3か月以内に退所させることとなる。
改善結果	翌日（11月26日）、所長が住民宅を再度訪問し、利用者の様子と退所の方向であることを説明した。 令和3年12月27日、他施設へ転出したため退所となった。 また、他利用者に対しては、全員集会で苦情の事実を説明し、救護所で生活している利用者も地域住民の一人であるため、地域に迷惑を掛けないようお願いした。	

19 その他

令和3年度から退所した利用者の社会的孤立を防止するため、退所した利用者が勤務する飲食店から在籍利用者の『おやつ（シフォンケーキ）』を購入する取り組みを開始した。

わらしな学園

1 主要事業報告

(1) 主要事業報告

ア 新型コロナウイルスの終息が見通せない中、安易な自粛により利用者満足度を下げることのないよう、工夫した新しいやり方で支援サービスを提供する。

令和3年度もふれあい盆踊り、ふれあい運動会の開催が見送られたことから、代替行事として、夏祭り、花火大会、運動会を実施した。

あわせて、新たに通信販売を利用した衣類等を自分で選んで購入する機会を設け、利用者支援サービスを充実させた。

イ 利用者の加齢に伴う疾病及び障害に合併する精神症状を早めに察知し、治療や症状の改善に努める。

利用者の状態変化にあわせ、嘱託医師、看護師、栄養士、支援員が連携して支援方法や食事の見直しを行い、個々に合わせた対応を実施した。

ウ 支援員は引き続き、「強度行動障がい者支援施設サポート事業」に取り組み、利用者の自閉特性等に対する支援力向上を図る。

前年に引き続き、強度行動障害者へ適切な対応ができる支援員育成の機会として、「強度行動障がい者支援施設サポート事業」のコンサルテーションに参画、支援力の向上に努めた。

エ 今後の建て替えを視野に、長寿命化計画を踏まえ、修繕などの年次計画を作る。長寿命化計画に従い、計画的に修繕を実施した。

オ 新型コロナウイルス対応

令和4年1月25日職員1人が体調不良となったため、施設内で抗原検査を実施利用者3人、職員2人が陽性と判定された。

嘱託医の指導のもと感染拡大防止策を行うが、その後も感染者は増加、利用者57人、職員18人が新型コロナウイルスに感染した。2月11日以降新規感染者はなく2月28日感染対応を終了した。

利用者様は、マスク着用などご自分で感染予防をできない方がほとんどであるため、今後も職員の感染予防策を徹底し、施設内の感染防止に努めていく。

2 職員数

単位：（人）

職 名	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
園 長	1		1	1		1
参 与				1		1
次長兼指導課長	1		1			
次長兼育成課長				1		1
育成課長	1		1			
参事生活支援員		1	1			
主幹生活支援員				1		1
主任生活支援員	2	2	4	1	2	3
副主任生活支援員	2	1	3	3	1	4
生活支援員	11	10	21	10	11	21
契約生活支援員						
契約パート生活支援員	2	6	8	2	6	8
看護師		1	1		1	1
主任栄養士		1	1		1	1
主幹事務員		1	1			
事務員		1	1		1	1
嘱託医師	2		2	2		2
計	22	24	46	22	23	45

3 施設整備

項 目	内 容
本館エレベーター整備	重度利用者の事故防止のためエレベーターを設置
本館事務室エアコン購入	経年劣化により本館事務室エアコンの更新
本館大型乾燥機購入	経年劣化により本館大型乾燥機の更新
食器洗浄機購入	経年劣化により厨房食器乾燥機の更新
非常照明、予備電池交換	経年劣化により交換修繕
新館 AED 購入	新館用 AED を整備
本館ホール、作業棟廊下ガラス修繕	破損した本館ホール、作業棟廊下ガラスの交換
新館 1 階女性用トイレ改修	和式便器から洋便器に改修
自動火災報知設備・誘導灯設備修繕	経年劣化により交換修繕
女性用洗面所系給水バルブ修繕	女性用洗面所系給水バルブの交換

4 職員研修（年間）

単位：（人）（日）

職部門	研修内容	主催者等	参加人員	出席日数
管理職	県知的障害者福祉協会総会（※）	県知的障害者福祉協会	2	1
	第55回静岡県知的障害者福祉協力大会（※）	県知的障害者福祉協会	2	1
	施設長・主任者等合同会議（※）	県知的障害者福祉協会	1	1
	文化芸術活動コーディネーター育成事業	県知的障害者福祉協会	1	1
	障害者支援部会職員研究集会（※）	県知的障害者福祉協会	1	1
	第2回権利擁護・虐待防止部会	静岡市	1	1
	高齢知的障害者の心身の変化（※）	静岡市	1	1
	防火管理者研修	静岡市消防局	1	1
生活 支援員	サービス管理責任者等基礎研修（※）	静岡県	1	3
	相談支援従事者初任者研修（※）	静岡県	1	7
	強度行動障害支援者養成研修 基礎研修（※）	静岡県	1	2
	強度行動障害支援者養成研修 実践研修（※）	静岡県	4	2
	障害者支援部会職員研究集会（※）	県知的障害者福祉協会	2	1
	急変を見逃さないための救急講座（※）	県社会福祉協議会	1	1
	感染症講座 中級編（※）	県社会福祉協議会	1	1
	フォローアップセミナー～同期の仲間との「つながり」づくり～	県社会福祉協議会	2	1
	社会福祉法人・福祉施設運営管理研修会	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉施設・事業所BCP実践編（※）			
	安全運転管理者講習	県安全運転管理協会	1	1
	強度行動障害者フォローアップ研修（※）	静岡市	1	3
	文化芸術コーディネーター育成講座	静岡市	1	3
	愛護ギャラリー展	静岡市	1	7
磐田学園強度行動障害研修会	静岡県立磐田学園	1	1	
栄養士	防火管理者研修	静岡市消防局	1	1
事務員	社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座（※）	県社会福祉協議会	1	2
	社会福祉法人予算管理講座（※）	県社会福祉協議会	2	1
	社会福祉法人会計実務専門講座（※）	県社会福祉協議会	2	1
	社会福祉法人決算実務講座（※）	県社会福祉協議会	2	1
全職員	障害者施設における虐待の防止	施設内	40	1
	計		77	49

（※）新型コロナウイルス感染防止対策のためリモート研修

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備考
健康診断（35歳以下）	年 1回	市医師会	15人	
成人病検査（一般）	年 1回	市医師会	27人	
夜勤者等健診（腰痛検診含む）	年 1回	県産業労働福祉協会	26人	夜勤従事職員等
婦人科検診	隔年1回	市医師会	11人	対象者
ストレスチェック	年 1回	聖隷健康サポートセンター	44人	職員
検便（サルモネラ菌・O-157）	毎月1回	(株) マルマ	1人	栄養士
	年 2回		44人	職員

6 施設利用人員

【定員：80人】

単位：（人）

	男	女	計
令和3年度当初	42	33	75
入所者	2	1	3
退所者	2	0	2
令和3年度末	42	34	76

7 施設入所理由

単位：（人）

理由	男	女	計
家庭の事情	2	1	3

8 施設退所理由

単位：（人）

理由	男	女	計
死去	2	0	2

9 利用者の年齢（令和4年3月31日）

10歳代	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計	平均年齢	最高年齢
0人	4人	5人	19人	28人	13人	7人	76人	53歳8か月	79歳10か月

10 利用者の在所要年数（令和4年3月31日）

1年未満	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計	平均年数	最高年数
3人	5人	5人	10人	8人	45人	76人	23年9か月	41年

11 利用者の障害支援区分（令和4年3月31日）

単位：（人）

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0	0	0	5	30	41	76

※【障害支援区分】

障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に示すもの。必要とされる支援の度合いが、区分1から区分6にかけて高くなる。

12 利用者の健康診断状況

実施時期	内 容	備 考
4月	検便	(株) マルマ
6月	健康診断（血液検査・尿検査 胸部レントゲン検査）	静岡済生会健康管理センター
9月	新型コロナウイルスワクチン接種 （1回目、2回目）	とやまクリニック
	歯科検診（※）	市歯科医師会
10月	検便	(株) マルマ
	健康診断（血液検査・尿検査・便潜血 胸部レントゲン検査）	静岡済生会健康管理センター
11月	インフルエンザ予防接種	とやまクリニック
3月	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）	とやまクリニック
毎月	体重、血圧	生活支援員（看護師）（身長は半年に1回測定）

13 利用者へのサービス状況

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活支援 (食事・入浴・着脱・排泄・移動・洗濯・整容等の介助) ・ 生産活動 (プラスチック製品などの受注作業、空き缶リサイクル等) ・ 個別支援 (外出・外食・買い物等) ・ 文化芸術活動 (音楽講座・読み聞かせ・美術等) ・ 社会参加 (適宜 マイクロバスで外出) ・ グループ外出等 (※) ・ 誕生会 (毎月第3月曜日) ・ おやつ (自販機からコインでジュース購入等) ・ 季節行事 (七夕・クリスマス・節分・ひな祭り等) ・ 家庭実習帰省 (5月、8月、10月、12月) (※) ・ 嘱託医往診 (内科：外山医師 第1, 3火曜日、 精神科：鈴木医師 4週ごと木曜日) ・ 通院介助 (適宜) ・ 生活用品管理 (適宜) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員会議 ・ 管理会議 ・ 支援員会議 ・ 給食会議 ・ 衛生委員会 ・ 虐待防止身体拘束委員会 (奇数月) ・ 施設安全管理委員会 (偶数月) ・ 新型コロナウイルス感染症対策委員会 (適宜) ・ 入退所調整委員会 (適宜) ・ 不燃ごみ処理 (適宜) ・ 除草作業 (適宜)

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(2) ボランティア受け入れ、慰問等

奉 仕 内 容	奉 仕 者	回 数 (回)	延人数 (人)
年越しそば提供	静岡そば商組合	(※)	
クリスマス訪問	雙葉学園子羊会	(※)	
そば打ち実演	楽 打 会	(※)	

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(3) 実習生の受け入れ

単位：(人)

学 校 名	期 間	内 容	人 員	延人数
常葉大学	5月17日～ 5月28日	保育実習	1	10
常葉大学	8月 6日～ 8月18日	保育実習	2	20
常葉大学	11月15日～11月26日	保育実習	2	20
静岡女子高等学校	8月 2日～ 8月 6日	介護実習	3	15
計			8	65

(4) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想 定 時間帯	訓 練 内 容
4月30日	地震想定	平日午前	新任職員との避難誘導、外回り点検
5月20日	地震想定	夜 間	避難誘導訓練 水消火器訓練、発電機稼働訓練
6月18日	火災想定	平日午前	避難誘導訓練、消防局通信訓練
7月16日	水害想定	平日午前	2階避難経路を使った避難、安否コール訓練
8月27日	火災想定	平日午前	初期消火訓練、発電機稼働訓練
9月 1日	南海トラフ 地震想定	平日午前	総合防災訓練、BCP 訓練、炊き出し
10月15日	火災想定	平日午前	消防局通信訓練、担架・車イス使用(けが人搬出訓練)
11月 1日	地震想定	平日午前	社会福祉施設防災の日防災訓練、炊き出し訓練 施設防災訓練実施結果報告書(市へFAX送信)
12月17日	地震想定	平日午前	施設内連携強化訓練
1月21日	地震想定	平日午前	避難誘導訓練
2月17日	地震想定	平日午前	法人全体のBCP 総合訓練、安否コール訓練
3月18日	地震想定	平日午前	避難誘導訓練

14 季節的行事

月	行事内容
4	2日 新任式 お花見
5	保護者総会（代替えー事業計画書送付） 希望帰省（※）
6	25日 食楽活動（ドーナツ作り） 買い物市（※） グループ外出（蓮華寺池公園）（※）
7	7日 清水七夕見学（※） 施設内七夕（清水七夕見学代替え行事） グループ外出（蓮華寺池公園）（※）
8	3日 ふれあい盆踊り（※） 夏祭り（ふれあい盆踊り代替え行事 学園、ロッジ利用者の交流） 13日 納涼会 14日 花火大会 希望帰省（※） グループ外出（島田ゆめみらいパーク）（※） グループ外出（蓮華寺池公園）（※）
9	1日 総合防災訓練 歯科検診（※） グループ外出（蓮華寺池公園）（※）
10	8日 ふれあい運動会（※） わらしな学園運動会（ふれあい運動会代替え行事） 19日 食楽活動（コーヒーゼリー作り） 希望帰省（※）
11	1日 入所施設防災の日防災訓練 個別外出（日本平動物園、アピタ静岡、マークイズ静岡、まかいの牧場）（※） 29日 インフルエンザ予防接種
12	7日 愛護ギャラリー展 24日 クリスマス会（ケーキ作り） そば商組合慰問・そば打ち体験（※） 雙葉学園子羊会訪問（※） 希望帰省（※）
1	6日 新年会 初詣（※）
2	3日 節分 歯科検診（※）
3	3日 ひな祭り 18日 地球会お楽しみ会（ケーキバイキング）

（※）新型コロナウイルス感染防止のため中止

15 地域交流活動

(1) 地域ふれあい事業

事業の内容	時 期	場 所	参 加 者
ふれあい盆踊り	8月	老人ホーム駐車場	(※)
ふれあい運動会	10月	わらしな学園 グラウンド	(※)
南藁科地区公共施設 連絡懇話会	隔月 第1火曜日	各施設持ち回り	南藁科学区自治会連合会会長、 産女駐在所長、南藁科小学校長 、藁科こども園長、吉津園理事 長、静岡老人ホーム長、静岡市 救護所長、わらしな学園長 (※)
交通事故ゼロの日 街頭キャンペーン	「0」のつく日	ふれあい橋前 横断歩道	(※)

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(2) 備品貸し出し事業

施設使用・備品	貸し出し場所
太鼓	吉津園 (※)
グラウンド駐車場	地区サッカー教室 (※)

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

16 障害福祉サービスの利用実績

単位：（人×日＝延人数）

月	施設入所支援	生活介護	短期入所	日中一時
4	2, 247	1, 572	79	30
5	2, 349	1, 367	55	24
6	2, 280	1, 672	44	25
7	2, 320	1, 499	48	23
8	2, 325	1, 575	36	12
9	2, 250	1, 500	23	0
10	2, 356	1, 596	62	17
11	2, 285	1, 524	58	21
12	2, 378	1, 762	54	19
1	2, 356	1, 520	41	14
2	2, 125	1, 367	0	0
3	2, 332	1, 655	19	6
計	27, 603	18, 609	519	191
開所日数（日）	365	243	365	365
1日平均利用者数	75.6	76.6	1.42	0.52

17 苦情相談解決結果

該当なし

18 その他

本館利用者の、移動中の事故防止、生活支援員の移動支援軽減のため、エレベーターを整備した。

わらしなホーム

1 主要事業報告

(1) 主要事業報告

ア 就労者に対して、就労継続を主軸に生活の基盤を整える。

高齢となった利用者の就労先を木工所から就労継続B型に変更、就労が継続できるよう支援した。

イ 利用者高齢化に伴う日々の生活に対して介護福祉サービスの利用やニーズの多様化に即した外部サービスへの接続をしていく。

本人のニーズにあわせ、デイサービス、杖・手すりのレンタルなどの介護保険サービスを利用できるよう支援した。

2 職員数

単位：（人）

年度 職名	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
ホーム長（兼務）		1	1	(1)		(1)
サービス管理責任者（兼務）		(1)	(1)		(1)	(1)
副主任世話人		1	1			
支援員※		1	1		1	1
計		3 (1)	3 (1)	(1)	1 (1)	1 (2)

※副主任世話人の休暇日のホーム支援は学園支援員が行う。

（ ）は外数

3 施設整備

該当なし

4 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備考
成人病検査	年1回	市医師会	1人	世話人
ストレスチェック	年1回	聖隷健康サポートセンター	1人	世話人
検便（サルモネラ菌・O-157）	年2回	（株）マルマ	1人	世話人

5 施設利用人員

【定員：7人】

単位：（人）

	男	女	計
令和3年度当初	0	5	5
入所者	0	0	0
退所者	0	1	1
令和3年度末	0	4	4

6 施設退所理由

単位：（人）

理由	男	女	計
他グループホームへ移行	0	1	1
計	0	1	1

7 利用者の年齢（令和4年3月31日）

30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 以上	計	平均年齢	最高年齢
0人	1人	1人	2人	4人	60歳 6か月	69歳 7か月

8 利用者の在在年数（令和4年3月31日）

10年未満	10年以上	計	平均年数	最高年数
0人	4人	4人	23年 7か月	32年

9 利用者の健康診断状況

単位：（人）

内 容	回 数	人 数
勤め先での定期健診	年1回	2
地元開業医での検診		2

10 就労先等（令和4年3月31日）

単位：（人）

電気部品製造会社	福祉施設ヘルパー	就労継続B型	就労していない
1	1	1	1

11 利用者へのサービス状況

定期的活動

利用者サービス	概 要
・ 食事提供	朝・夕食提供
・ 金銭管理	預かり金管理契約に基づく
・ 相談指導	随 時
・ 行政等手続き代行	随 時
・ 介護保険サービス利用援助	随 時
・ 営繕作業	随 時
・ 通院介助	随 時
・ 健康診断手配	年1回
・ 誕生日会	誕生日
・ 災害防災対策	防災非常食備蓄、学園夜間訓練に連携実施

12 季節的行事及び地域交流活動

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	18日 お花見	10	
5	ゴールデンウィーク帰省 (※)	11	29日 インフルエンザ予防接種
6		12	12日 クリスマス会
7	清水七夕見学 (※)	1	正月帰省 (※)
8	ふれあい盆踊り大会 (※) お盆帰省 (※)	2	
9		3	30日 離任式

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

13 障害福祉サービス（共同生活援助）利用実績 単位：（人×日＝延人数）

月	人×日	月	人×日
4	146	10	124
5	144	11	120
6	146	12	121
7	134	1	120
8	114	2	112
9	120	3	124
		計	1,525
		開所日数	365日
		1日平均 利用者数	4.2

14 苦情相談解決結果

該 当 な し

わらしなロジ

1 主要事業報告

(1) 主要事業報告

ア 軽作業や運動の一環として、エコキャップ運動及びアドプトプログラム等の活動を通じて、地域貢献活動に積極的に参画する。

新型コロナウイルスの影響で、地域貢献活動は実施できなかったが、軽作業の一つとしてキャップ消毒を1年とおして行い、安全な環境のもと活動することができた。

イ 定員の補充に関しては、利用者本位のきめ細やかな送迎サービスや自然環境を利用した体力づくりなど、ロジの誇るサービスの一層のブランド化と相談支援センターを活用した組織的な広報活動により、若く健康な利用者の拡大につなげる。

個人の状態に合わせた歩行距離などの目標を設け、積極的に取り組むことができた。利用者の増員については、学校、相談事業者と細かな連絡を行い、1名の新規利用者が獲得できた。

2 職員数

単位：（人）

職名	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
所長（兼務）	（1）		（1）	（1）		（1）
主幹生活支援員	1		1	1		1
主任生活支援員	1		1	2		2
副主任生活支援員	1		1			
生活支援員	2	1	3	2	1	3
契約生活支援員		1	1	1 （1）	1	2 （1）
契約パート生活支援員		1	1		1	1
看護師（兼務）		（1）	（1）		（1）	（1）
契約運転手	1		1			
派遣運転手	1		1	1		1
嘱託医師	1		1	1		1
計	8 （1）	3 （1）	11 （2）	8 （2）	3 （1）	11 （3）

（ ）は外数

3 施設整備

項目	内容
職員室扉修繕	職員室扉の修繕
パソコン購入	パソコンの更新

4 職員研修（年間）

単位：（人）（日）

職部門	研修内容	主催者等	参加人員	出席日数
生活支援員	強度行動障害支援者育成研修 実践研修（※）	静岡県	1	2
	障害者施設における虐待の防止	施設内	3	1
計			4	3

（※）新型コロナウイルス感染防止対策のためリモート研修

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備考
健康診断（35歳以下）	年 1回	市医師会	3人	
成人病検査（一般）	年 1回	市医師会	6人	
ストレスチェック	年 1回	聖隷健康サポートセンター	9人	職員
検便（サルモネラ菌・O-157）	年 2回	（株）マルマ	9人	職員

6 施設利用人員

【定員：20人】

単位：（人）

	男	女	計
令和3年度当初	14	7	21
入所者	1	0	1
退所者	1	0	1
令和3年度末	14	7	21

7 施設入所理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
家庭の事情	1	0	1

8 施設退所理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
当入所施設へ移行	1	0	1

9 利用者の年齢（令和4年3月31日）

10歳代	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計	平均年齢	最高年齢
0人	3人	2人	12人	4人	0人	0人	21人	43歳6か月	54歳6か月

10 利用者の在所年数（令和4年3月31日）

1年未満	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計	平均年数	最高年数
1人	2人	3人	3人	0人	12人	21人	17年2か月	26年

11 利用者の障害支援区分（令和4年3月31日）

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0人	0人	1人	4人	11人	7人	21人

※【障害支援区分】

障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に示すもの。必要とされる支援の度合いが、区分1から区分6にかけて高くなる。

12 利用者の健康診断状況

実施時期	内 容	備 考
6月	健康診断（血液検査・尿検査 胸部レントゲン検査）	静岡済生会健康管理センター
9月	歯科検診（※）	市歯科医師会
10月	健康診断（血液検査・尿検査・便潜血 胸部レントゲン検査）	静岡済生会健康管理センター
3月	検便	（株）マルマ
毎月	体重、血圧	生活支援員（看護師）（身長は半年 に1回計測）

13 利用者へのサービス状況

（1）定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
生活支援活動 （身辺介護・食事介助・整髪） 個別支援活動 （マイスタディー・身体活動・作業・園芸 作業 ・感覚活動・季節行事） 社会参加支援活動 （公共施設利用、食事、買い物・奉仕作業 （※）・エコキャップ収集作業（※）・周辺 道路、河川や商店街清掃（※）） 保護者参加型活動 （さつま芋収穫祭、参加週間（※））	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 ・支援員会議 ・衛生委員会 ・虐待防止身体拘束委員会（奇数月） ・施設安全管理委員会（偶数月） ・新型コロナウイルス感染症対策委員会（適宜） ・入退所調整委員会（適宜） ・不燃ごみ処理（適宜）

（※）新型コロナウイルス感染防止のため中止

(2) ボランティア受け入れ、体験学習、慰問等

奉仕内容	奉仕者	回数(回)	延人数(人)
クリスマス訪問	雙葉学園子羊会	(※)	
年越しそば提供	静岡そば商組合	(※)	
体育指導、介護支援等	石井英機氏等	(※)	

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(3) 実習生の受け入れ

単位：(人)

学校名	期間	内容	人員	延人数
常葉大学	5月17日～5月28日	保育実習	1	10
常葉大学	8月6日～8月18日	保育実習	2	20
常葉大学	11月15日～11月26日	保育実習	2	20
静岡女子高等学校	8月2日～8月6日	介護実習	3	15
計			8	65

(4) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想定時間帯	訓練内容
4月21日	地震想定	午前送迎中	地震想定訓練
5月12日	地震想定	午前活動中	避難誘導訓練、避難指示、職員の役割確認
6月18日	火災想定	午前活動中	避難誘導訓練
7月18日	水害想定	午前活動中	新館2階への避難誘導訓練、避難指示
8月20日	地震想定	午後活動中	地震想定訓練
9月1日	南海トラフ地震想定	午前活動中	総合防災訓練、災害用伝言ダイヤル訓練
10月15日	火災想定	午前活動中	消防局通信訓練、ヘルプメイト発動訓練
11月25日	地震想定	午前活動中	避難誘導訓練、避難指示、職員の役割確認
12月17日	地震想定	午前活動中	少人数の職員配置での避難誘導訓練
1月21日	地震想定	午前活動中	避難誘導訓練、避難指示、職員の役割確認
2月17日	地震想定	午前活動中	法人全体のBCP総合訓練、安否コール訓練
3月18日	地震想定	午前活動中	避難誘導訓練

14 季節的行事

月	行 事 内 容
4	2日 新任式 7日 お花見
5	21日 日帰り旅行 (※) 野外活動：あさはた緑地 (日帰り旅行代替え行事) 保護者総会 (代替えー事業計画書送付)
6	17日 ジャガイモ収穫 23日 お楽しみ会
7	7日 清水七夕見学 (※) 施設内七夕 (清水七夕見学代替え行事) 14日 プール開き
8	3日 ふれあい盆踊り大会 (※) 夏祭り (ふれあい盆踊り代替え行事 学園、ロッジ利用者の交流)
9	1日 総合防災訓練 15日 親子ボーリング大会 (※) 館内ボーリング大会 (親子ボーリング大会代替え行事) 歯科検診 (※)
10	7日 ふれあい運動会 (※) わらしな学園運動会 (ふれあい運動会代替え行事)
11	10日 さつま芋収穫祭 26日 日帰り旅行 (※) 野外活動：あさはた緑地 (日帰り旅行代替え行事)
12	22日 クリスマス会 (愛護ギャラリー鑑賞) そば商組合慰問・そば打ち体験 (※) 雙葉学園子羊会訪問 (※)
1	8日 書初め大会 21日 初詣
2	節分 (※) 歯科検診 (※)
3	2日 ひな祭り 4日 美和桜見学 (節分代替え行事)

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

15 地域交流活動

(1) 地域ふれあい事業

事業の内容	時 期	場 所	参 加 者
ふれあい盆踊り	8月	老人ホーム駐車場	(※)
ふれあい運動会	10月	わらしな学園 グラウンド	(※)
南藁科地区公共施設 連絡懇話会	隔月第1火曜日	各施設持ち回り	南藁科学区自治会連合会会長、 産女駐在所長、南藁科小学校長、 藁科こども園長、吉津園理事 長、静岡老人ホーム長、静岡市 救護所長、わらしな学園長 (※)
交通事故ゼロの日 街頭キャンペーン	「0」のつく日	ふれあい橋横断歩 道	(※)

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(2) 備品貸し出し事業

な し

16 障害福祉サービスの利用実績

単位：(人×日＝延人数)

月	人×日	月	人×日
4	378	10	371
5	325	11	369
6	391	12	370
7	338	1	283
8	375	2	90
9	345	3	391
		計	4,026
		開所日数	226日
		1日平均 利用者数	17.8

17 苦情相談解決結果

該当なし

18 その他

障害者虐待に係る改善指導

令和2年6月15日発生の案件について、令和3年12月16日静岡市長から障害者虐待に係る改善指導を受けた。

令和4年1月27日是正・改善計画（①マニュアル、虐待防止委員会、作業部会設置要綱の策定 ②職員への内部及び外部講師を招いての研修、支援のあり方を再考する職員会議の実施 ③虐待が発生した場合の処理手順書、通報受付書、報告書の作成）を静岡市に提出した。

改善計画については、早急に対応を実施し、今後虐待をおこさないため、繰り返し研修を実施して、利用者支援の改善に努めていく。

相談支援センターわらしな

1 主要事業報告

(1) 主要事業報告

ア 特定相談支援及び障害児相談支援の契約件数と相談支援専門員の基準件数等の調整を図りながら、事業運営の安定を図る。

相談支援専門員の基準件数等を確認しながら調整を行うことができた。

イ 計画相談に必要な研修に参加し、専門性を高め一人ひとりに合った相談支援を提供していく。

新型コロナウイルスに留意し、リモート及び少数で研修に参加、各会議に参加することで、専門機関との連絡を図りながら個別のケース検討、地域課題の抽出等、幅広い分野の知識を習得に努めた。

ウ 得意分野である知的障害の相談を深めていく。

関係機関と連絡を図りながら、個別ケースの検討、課題抽出を行い、課題解決に結びつけることができた。

2 職員数

単位：（人）

職名	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
所長（兼務）	(1)		(1)	(1)		(1)
主任相談員				1		1
主任相談員（兼務）	(1)		(1)	(1)		(1)
副主任相談員	1		1			
計	1 (2)		1 (2)	1 (2)		1 (2)

() は外数

3 施設整備

該 当 な し

4 職員研修（年間）

単位：（人）（日）

職部門	研修内容	主催者等	参加 人員	出席 日数
相談員	相談支援部会	自立支援協議会	1	2
	葵区連絡調整会議（※）	静岡市	1	3
	高次脳機能障害研修 基礎編（※）	静岡市	1	1
	高齢になられた障害者の支援の連携	静岡市	1	1
	障害者施設における虐待の防止	施設内	1	1
	計		5	8

（※）新型コロナウイルス感染防止対策のためリモート研修

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施期間	受診者	備 考
成人病検査	年1回	市医師会	1人	
ストレスチェック	年1回	聖隷健康サポート センター	1人	
検便（サルモネラ菌 0-157）	年2回	（株）マルマ	1人	

6 計画相談件数（年間）

（1）特定相談支援

ア 特定相談支援利用契約者数（令和4年3月31日）

155人

イ 計画、モニタリング実績

単位：（件）

月 計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規・更新 (案) (※1)	16	12	8	13	6	11	15	13	14	7	10	5	130
継続	32	26	25	16	21	25	32	27	21	23	18	29	295
計画(本) (※2)	15	11	12	8	14	6	11	15	14	14	7	11	138
合計	63	49	45	37	41	42	58	55	49	44	35	45	563

(※1) (案)とは、新規での福祉サービス利用や既に利用している福祉サービスの有効期限の更新、福祉サービスの追加又は変更申請を記した行政審査会へ提出する書類件数。

(※2) (本)とは、案件の提出後、行政審査会を経て行政による福祉サービスの支給決定が確定した書類件数。

* 令和3年度は、わらしな学園入所利用者の3年ごとの計画更新年のため、新規・更新(案)と計画(本)が増加、継続が減少。

(2) 障害児相談支援

ア 障害児相談支援利用契約者数（令和4年3月31日）

80人

イ 計画、モニタリング実績

単位：（件）

月 計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規・更新 (案) (※1)	8	5	5	5	9	9	10	6	9	7	4	11	88
継続	9	6	10	8	4	10	6	4	8	4	8	10	87
計画(本) (※2)	8	8	5	5	5	9	9	10	6	9	7	4	85
合計	25	19	20	18	18	28	25	20	23	20	19	25	260

(※1) (案)とは、新規での福祉サービス利用や既に利用している福祉サービスの有効期限の更新、福祉サービスの追加又は変更申請を記した行政審査会へ提出する書類件数。

(※2) (本)とは、案件の提出後、行政審査会を経て行政による福祉サービスの支給決定が確定した書類件数。

小鹿こども園

1 主要事業報告

(1) 幼保連携型認定こども園教育保育要領を踏まえた教育保育

重点目標「自分で楽しいを見つけよう」を基に、生活や遊びの中で子どもが主体的な活動を展開できるよう、園庭、室内の環境を整えた。また、園内研修で子ども理解について研修を行い、職員の資質向上を図った。

(2) こども園基本計画の実施

ア 1号認定子どもの受け入れを開始

令和3年4月は1名だったが10月に2号児2名が1号へ変更し、1月には2歳児クラスで満3歳を迎えた1名が1号へと切り替わったため計4名の在籍となった。

- ※1号認定子ども 教育を必要とする満3歳以上の子ども
- 2号認定子ども 保育を必要とする満3歳以上の子ども
- 3号認定子ども 保育を必要とする満3歳未満の子ども

イ 保育業務支援システムを導入

保護者と園を繋ぐツールとして、園からのおたよりやお知らせの配信、連絡ノート機能を利用している。

導入したことにより、

- ・ 用紙代や印刷コスト等の経費削減
- ・ 遅刻や欠席等の連絡がいつでも出来、朝の電話連絡が減少
- ・ 登降園時の打刻により園児の人数把握がすぐにできる
- ・ おたよりの配布忘れや連絡ノートの入れ間違い等、個人情報の流失防止等につながっている。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

ア 昨年同様、登園前の家庭での検温、及びICTへの入力、来園者のマスク着用及び手指消毒の徹底を依頼

イ 行事の見直しを行い、方法の変更や、感染症対策を行いながら実施した。

ウ 園内の清掃及び消毒、職員のマスク着用を徹底する。

2 職員数

単位：（人）

職名	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
園長		1	1		1	1
副園長			0		1	1
主任保育教諭		2	2		1	1
副主任保育教諭		1	1		2	2
保育教諭		13	13		12	12
契約保育教諭		3	3		3	3
契約パート保育教諭		3	3		5	5
調理員		2	2		2	2
契約調理員		1	1		1	1
契約パート調理員		4	4		4	4
契約パート看護師		1	1		1	1
事務員			0		1	1
契約事務員		1	1			0
契約パート用務員		2	2		2	2
契約パート補助員		1	1		1	1
嘱託医	2		2	2		2
嘱託学校薬剤師	1		1	1		1
計	3	35	38	3	37	40

3 施設整備

項目	内容
放送設備更新工事	園内放送設備の不具合による取替え
防犯カメラ入替工事	カメラ不具合による取替え
カメラハードディスク設置工事	防犯のため、録画機能を追加
登り棒、スプリング遊具修繕	点検により不良と判断された箇所の修繕
給食室回転釜、フライヤー、ガスレンジ購入	点検結果により古いものから順次厨房機器を更新する
園南側柵修繕	老朽化したパネルの交換
藤棚塗装替え	点検時の指摘により塗替え
LED電灯取替	残っていた電灯の取替え（全ての電灯の取替えが終わる）

4 職員研修（年間）

単位：（人）（日）

職部門	研修内容	主催者等	参加人数	出席日数
園長	施設長研修（※）	県保育連合会	1	3
	園内研修		1	12
保育教諭	主幹・主任保育教諭研修会（※）	県保育士会	1	2
	保育研究大会（※）	県保育士会	1	1
	保育実践研修会（※）	県保育士会	1	1
	新規採用者研修	県保育士会	1	2
	養護講座	市保育士会	1	1
	理事研修会	市保育士会ときわ支部会	1	2
	実技研修	市保育士会ときわ支部会	1	1
	新規採用者研修	厚生事業協会	1	1
	園内研修		20	12
事務員	決算実務講座（※）	県社会福祉協議会	1	1
	会計実務専門講座（※）	県社会福祉協議会	1	1
計			32	40

（※）新型コロナウイルス感染防止対策のためリモート研修

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備考
健康診断 （生活習慣予防検診）	年 1回	市医師会 県産業労働福祉協会	34人	全職員
婦人科検診	隔年1回	市医師会	8人	対象者
ストレスチェック	年 1回	聖隷健康サポートセンター	34人	全職員
検便（サルモネラ菌・ O-157）	毎月1回	（株）マルマ	35人	全職員

6 施設利用人員

【定員：159人】

単位：（人）

	令和3年度当初	入園児	退園児	令和3年度末	備 考
0歳児	6	4	1	9	
1歳児	24		1	23	年度末転園1
2歳児	23		1	22	年度末転園2
3歳児	36			36	年度末転園1
4歳児	27			27	年度末転園2
5歳児	36	1	1	36	卒園36
計	152	5	4	153	

7 利用者の年齢（令和4年3月31日）

単位：（人）

乳 児			3歳児	4歳児	5歳児	計
0歳児	1歳児	2歳児				
9	23	22	36	27	36	153

8 利用者の健康診断状況

実施時期	内 容	備 考
毎 月	身長・体重測定	職員により行う
6月	視力検査（年中児）	職員により行う
10月	検尿検査	県予防医学協会
5月、11月	内科健診	早川囑託医師
5月、11月	歯科検診	小武海囑託医師
11月	歯科指導（歯磨き指導）	市歯科医師会（歯科衛生士）

9 利用者へのサービス状況

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
<ul style="list-style-type: none"> ・身長体重測定（園児の成長を記録） ・防災訓練（災害に備え訓練） ・消火訓練（水消火器を使用し訓練） ・防犯訓練（不審者に対する訓練） ・おたより発行（園だより、クラスだより、食育だより、ナースだより、献立表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議（教育保育、行事全般について） ・給食会議（給食、おやつ、献立について） ・行事全体会議（行事实施について） ・ケース、事故ヒヤリハット検討会（気になる子の対応、事故防止について） ・運営会議（運営について） ・園内研修（教育保育の内容について）

(2) ボランティア受け入れ

奉 仕 内 容	奉 仕 者	回 数 (回)	延人数 (人)
芝刈り、園庭整備	保護者会	14	70
子育てサロン手伝い	地区主任児童委員	(※)	
園内清掃	静岡聖光学院学生	(※)	
計		14	70

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(3) 園外保育

年 月 日	内 容
3年10月27日	幼児動物教室・日本平動物園（年長児）
11月11日	親子遠足・日本平動物園（幼児親子）
4年 1月12日	静岡市公私立こども園人形劇観劇 (※)
3月 4日	お別れ遠足・二つ池公園周辺散策 (※)

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(4) 実習生の受け入れ

単位： (人)

学 校 名	期 間	人 員	延人数
静岡県立大学短期大学部	10月 4日 ~ 10月16日	1	12
常葉大学短期大学部	1月31日 ~ 2月17日	1	11
計		2	23

(5) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想定時間帯	訓 練 内 容
4月21日	地震想定	午前活動中	全職員で避難経路を地図上で確認 室内での身の守り方を知る
5月21日	地震想定	午前活動中	園庭へ避難 防災ヘルメット、頭巾の使用の確認
6月24日	火災想定	午前活動中	給食室より出火、火の元の始末、消火器 持ち出し等の確認 消防署員による花火教室
7月20日	地震想定	午前活動中	園庭へ避難 避難すべり台使用
8月19日	地震想定	午前活動中	水遊び中の訓練
9月 1日	地震想定	午前活動中	総合防災訓練 防災伝達訓練 (伝言ダイヤル使用) 持ち出し品及び備蓄食品等の搬出
10月21日	地震から 火災想定	午前活動中	防災伝達訓練 (伝言ダイヤル使用)
11月 1日	地震想定	午前活動中	総合防災訓練 けが人の対応、処置
12月16日	火災想定	午後活動中	給食室より火災発生、初期消火対応 シークレット訓練
1月21日	地震想定	遅番保育中	遅番保育時間での実施
2月17日	地震想定	早番保育中	早番保育時間での実施 BCP 訓練
3月10日	地震想定	遅番保育中	シークレット訓練

10 季節的行事

月	行 事 内 容
4	5日 入園式（新入園児親子が参加）始業式、進級式 保護者会総会（＊書類配布のみ） 28日 こどもの日の集い
5	25日 和太鼓練習開始（年長児）
6	11日 科学の教室（静岡科学館るくる職員により科学について学ぶ） 23日 プール開き、和太鼓披露 24日 花火教室（消防署員により花火の扱い方を学ぶ）
7	7日 七夕の集い 20日 小鹿フェスタ（様々なお店屋さんごっこを楽しむ） 21日 終業式
8	31日 プール納め
9	1日 始業式 総合防災訓練（引渡し訓練は中止する） 16日 ケアハウス白寿荘交流（※）
10	18、25日 お楽しみ会（保護者会主催、大道芸） 23日 運動会（年少、年長児、時差を付け実施） 27日 幼児動物教室（年長児） 30日 運動会（年中児）
11	10月28日～18日 就学児健康診断（年長児） 1日 社会福祉施設総合防災訓練 15日 七五三宮参り 22日 勤労感謝の日（保護者、園周辺施設に日頃の勤労に関し感謝を伝える） 26日 交通教室（幼児、交通指導員により交通ルールについて学ぶ）
12	1日～12日 健康文化交流館「来てこ」にて造形作品展示 1日～22日 クリスマス会（クリスマス月間として園内を飾り付けた） 24日 もちつき（年長児が鏡餅を作り持ち帰る、他学年はもちつきの様子を見学） 終業式
1	7日 始業式 12日 静岡市公私立こども園人形劇観劇（※） 19日 サッカー教室（年長児） 22日 親子であそぼう会（0，1歳児親子）（※） 25日 参観会（年長児）（※）

2	2日 豆まき 5日 親子であそぼう会（2歳児親子）（※） 22日 交通教室（年長児）（※）
3	3日 ひな祭りの会集い（クラスごとひな祭りについての話を聞く） 4日 お別れ遠足（二つ池公園周辺散策）（※） 15日 お別れ会 19日 卒園式（卒園児親子が参加） 24日 修了式

（※）新型コロナウイルス感染防止のため中止

11 地域交流活動

（1）老人福祉施設訪問等世代間交流

単位：（人）

事業の内容	時 期	場 所	お年寄り	園児
老人施設訪問	9月16日（幼児との交流） 10月23、30日（運動会）	ケアハウス 白寿荘	（※）	
仲よし体操	週1回	園 庭	（※）	

（※）新型コロナウイルス感染防止のため中止、老人施設へメッセージ動画、作品、祖父母へ絵手紙を贈る

（2）地域における異年齢児との交流

単位：（人）

事業の内容	時 期	場 所	未就園児
おしゃべりサロン	年10回	豊田児童館	44 （※4回実施）
園庭開放	月 1回	園 庭	（※）
一時保育児受入れ	通 年	保 育 室	（※）

（※）新型コロナウイルス感染防止のため中止、または実施回数を減らす

12 苦情相談解決結果

該 当 な し

北沼上こども園

1 主要事業報告

(1) こども園基本計画の実施

ア 建替えに向けた土地の測量が始まる。測量終了については未定。

イ 1号認定子ども（※）の受け入れを開始

1号認定子どもの入園希望はなかった。

（※）1号認定子ども 教育を必要とする満3歳以上の子ども

2号認定子ども 保育を必要とする満3歳以上の子ども

3号認定子ども 保育を必要とする3歳未満の子ども

ウ 土砂災害等の対策

入園時園のしおりにて、土砂災害警戒区域であることを保護者に周知。

自然災害が予想される場合、警戒レベル3（高齢者等避難開始、避難に時間を要する人・高齢者、障害者、乳幼児等）で保護者に迎えを依頼し、迅速な対応で災害や事故を未然に防止できるようにした。

エ 保育業務支援システムを導入

保護者と園を繋ぐツールとして、園からのおたよりやお知らせ、アンケートの配信機能等を利用。

導入したことにより、

- ・園児の検温、家族の体調、欠席・遅刻連絡の入力により把握ができる。
- ・登降園時の打刻により、園児の人数把握ができる。
- ・各クラス出欠簿、月末の処理がスムーズにでき、事務処理の軽減に繋がった。
- ・全家庭に一斉に配信、開封確認可能。
- ・ペーパーレスでコスト削減。

(2) 環境整備

生活や遊びの中で子どもが主体的に活動し、心身共にたくましく育つよう環境を整えた。

・ 園庭整備

前年度、老朽化のため園庭固定遊具を撤去、園庭の環境を見直した。子どもの成長・発達のために必要な遊具を職員で検討を重ね、築山、ユラユラ橋、ログハウスの3点を導入した。

・ 各クラスの環境整備

各クラスの子どもの様子を見ながら、コーナー遊びの内容を変更したり、配置を考慮する。以前よりも子どもが好きな遊びを選び楽しんでいる。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

ア 昨年同様、各家庭での検温・家族の健康状態の把握のため、毎日 ICT から入力
の協力を依頼。

イ 園舎内の清掃・消毒の徹底、玄関での手指消毒、職員・保護者・幼児のマスク着用

ウ 年長児の黙食、同じ方向を向いて食事が出来るように、2人掛けの机を購入した。

エ 行事の見直しを行い、各クラスで時間差開催・保護者参加人数の制限・観覧席の間
隔を開ける等、感染症対策をしながら実施。

オ コロナワクチン3回目 26人中22人接種済み

2 職員数

単位：(人)

職名	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
園長		1	1		1	1
主任保育教諭		2	2		2	2
副主任保育教諭		2	2		1	1
保育教諭	2	5	7	2	5	7
契約保育教諭		2	2		4	4
契約パート保育教諭		4	4		5	5
調理員		1	1		1	1
契約調理員		1	1		1	1
契約パート調理員		2	2		2	2
契約パート看護師		1	1		1	1
事務員			0		1	1
契約事務員		1	1			0
契約パート用務員		1	1		1	1
嘱託医	2		2	2		2
嘱託薬剤師	1		1	1		1
計	5	23	28	5	25	30

3 施設整備

項 目	内 容
園庭遊具設置	子どもの成長発達のために必要なものとして、ログハウス、築山、ユラユラ橋を購入
環境整備 保育室本棚・机購入 室内遊具購入	本棚、年長児用二人掛け机を購入。 室内遊び用すべり台、ままごと木製キッチン、ブロック、ビルドインバランスを購入
食器消毒保管庫購入	故障の為、入れ替え
トランシーバー、拡声マイク購入	行事や災害時に使用するため購入
タブレット購入	ICT導入に伴い、タブレット6台購入

4 職員研修（年間）

単位：（人）（日）

職部門	研修内容	主催者等	参加人数	出席日数
園長	施設長研修（※）	県保育連合会	1	3
	保育研究大会（※）	県保育連合会	1	1
	救急講習		1	1
	接遇マナー（※）		1	1
保育教諭	主幹・主任保育教諭研修会（※）	県保育士会	1	2
	保育実践研修会（※）	県保育士会	1	1
	保育士・保育教諭研修会	県保育士会	1	1
	男性保育士・保育教諭研修（※）	県保育士保育連合会	2	1
	保育研究大会（※）	県保育連合会	1	1
	職員研修会（※）	県保育連合会中部支部	1	1
	理事研修会	市保育士会ときわ支部会	1	2
	実技研修	市保育士会ときわ支部	1	1
	ときわ研修会	市保育士会ときわ支部	1	1
	キャリアアップ研修会	県保育連合会	2	6
	衛生推進者養成講座	労働基準協会連合会	1	1
	指導者講習会	市スポーツ交流課	1	1
	指導者育成研修会	幼少年女性消防委員会	1	1
	新規採用者研修	静岡市厚生事業協会	1	1
	救急講習		20	1
	園内研修		18	12
	接遇マナー（※）		18	1
階層別研修		15	2	

調理員	救急講習		2	1
	園内研修		4	1 2
	接遇マナー (※)		3	1
	階層別研修		4	2
事務員	決算実務講座 (※)	県社会福祉協議会	1	1
	救急講習		1	2
	園内研修		1	1
	接遇マナー (※)		1	1
看護師	園内研修		1	1
	階層別研修		1	1
計			1 1 0	6 6

(※) 新型コロナウイルス感染防止対策のためリモート研修

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
定期健康診断 (生活習慣予防検診)	年 1回	市医師会健診センター 県産業労働福祉協会	26人	全職員
婦人科検診	隔年1回	市医師会健診センター	7人	対象者
ストレスチェック	年 1回	聖隷健康サポートセンター	26人	全職員
検便 (サルモネラ菌・ 赤痢菌・O-157)	月 1回	(株) マルマ	26人	全職員

6 施設利用人員

【定員：106人】

単位：(人)

クラス	令和3年度当初	入園児	転退園児	令和3年度末	
0歳児	4	5		9	
1歳児	15	2		17	年度末転園1
2歳児	18	1	1	18	
3歳児	19	0		19	
4歳児	16	4		20	
5歳児	18	1		19	卒園19
計	90	13	1	102	

7 利用者の年齢（令和4年3月31日）

単位：（人）

乳 児			3歳児	4歳児	5歳児	計
0歳児	1歳児	2歳児				
9	16	18	19	20	19	102

8 利用者の健康診断状況

実施時期	内 容	備 考
毎 月	身長・体重測定	職員により行う
5月	尿検査	県予防医学協会
6月	歯科検診（1回目）	トヨタ歯科嘱託医師
	内科健診（1回目）	杉山小児・内科嘱託医
10月	内科健診（2回目）	杉山小児・内科嘱託医師
11月	歯科検診（2回目）	トヨタ歯科嘱託医師
1月	歯みがき巡回指導	静岡市歯科医師会（歯科衛生士）
3月	視力測定（年中）	看護師により行う

9 利用者へのサービス状況

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
<ul style="list-style-type: none"> ・身長体重測定（園児の成長を記録） ・誕生会（誕生日当日、各クラスにて行う） ・防災訓練（災害に備え訓練） ・消火訓練（水消火器を使用し訓練） ・防犯訓練（不審者に対する訓練） ・お便りメール配信 月1回（園だより・クラスだより・給食だより・給食献立表） ・広報誌「龍の童だより」を地域回覧板に入れる 年4回発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議（毎月、教育保育・行事全般について） ・運営会議（毎月、運営について） ・ヒヤリハット検討会（毎月、事故防止について） ・給食会議（毎月、給食・おやつ・献立について） ・園内研修（毎月、教育保育の内容・資質向上） ・ケース会議（年4回、気になる子の対応） ・全体会議（年1回、年間行事・役割分担等）

(2) ボランティア受け入れ

奉 仕 内 容	奉 仕 者	回 数	延人数 (人)
資源回収	保護者	年1回	30
環境学習	地域住民	年1回	5
ふれあい動物園	保護者会	年1回	3
計		3回	38

(3) 園外保育

年 月 日	内 容
4年 3月 9日	親子ハイキング・一本松公園 (年長児)
3月11日	親子ハイキング・一本松公園 (年中児)
3月16日	親子ハイキング・せせらぎ広場 (年少児)

(4) 実習生の受け入れ

単位： (人)

学 校 名	期 間	人 員	延人数
常葉大学附属橘高等学校	8月 2日 ~ 8月 4日	2	6
常葉大学短期大学部 (自主実習)	10月26日、28日、29日	1	3
常葉大学 (単位実習)	2月14日 ~ 2月28日	1	10
常葉大学短期大学部 (本実習)	3月 7日 ~ 3月18日	1	11
常葉大学短期大学部 (本実習)	3月 8日 ~ 3月22日	1	11
計		6	41

(5) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想定時間帯	訓練内容
4月14日		平日午睡中	図上訓練：土砂崩れ・地震・火災・水害についての避難方法確認 ヘルメットの正しいかぶり方の確認。 初期消火訓練
5月11日	地震想定	平日午前 平日午後	保育活動中、園庭への避難 初期消火訓練 15時地震発生想定、保護者にメール配信、 引渡訓練
6月23日	台風接近による水害想定	平日午前	2階へ避難、停電・水道不通想定 初期消火訓練
7月27日	地震想定	平日午前	水遊び中を想定 初期消火訓練
8月28日	火災想定	土曜午前	土曜保育中給食室から火災想定、園庭に避難 初期消火訓練
9月30日	地震想定	平日午前	第二避難場所（長尾川老人福祉センター）に避難後、停電・水道使用不通想定で半日生活。 自主防災活動必要器具・生活必需品の確認 初期消火訓練
10月26日	地震から山崩れ想定	平日午前	山崩れ想定、職員同士声を掛け合い状況判断する。 第二避難場所（長尾川老人福祉センター）に避難。 初期消火訓練
11月1日	地震から火災想定	平日午前	南海トラフ地震発生の想定 第三避難場所（竜爪中学）に避難、伝言ダイヤル実施 初期消火訓練
1月7日	火災想定	平日午前	2階リフト室から出火想定 119番通報訓練 初期消火訓練
2月9日	職員間でクイズ	平日午睡中	SONAE アプリにより、職員間で警報音当てクイズ YES/NO クイズで防災知識を確認 初期消火訓練
2月17日	地震想定	平日午前	法人BCP訓練
2月18日	地震から山崩れ想定	平日朝	保育活動中、山崩れの場所から避難の仕方を考える。 初期消火訓練
3月10日	地震から火災想定	平日午睡中	1年間の防災訓練の反省・課題出しを行う。 初期消火訓練

10 季節的行事

月	行 事 内 容
4	5日 入園式 保護者会総会、クラスオリエンテーション（※書類配布のみ） 6日 始業式 8日 竹粉の堆肥作り 13日 鯉のぼり上げ 15日 音楽リズム教室 28日 運動教室
5	6日 夏野菜 苗植え 11日 引き渡し訓練 13日 音楽リズム教室 19日 尿検査
6	5日 運動会（幼児） 8日 内科健診 10日 じゃがいも収穫 歯科検診 11日 幼児動物教室（年長） 22日 交通安全教室（年少・年中） 24日 音楽リズム教室 30日 花火教室
7	5日 プール開き（各クラスごと） 7日 七夕
8	4日～6日 未就園児ミニプール開放（※） 31日 プール納め
9	8日 運動教室（※） 15日 園体験と給食試食会（※） 28日 築山 お披露目会 28日 クッキング（幼児） 30日 固定遊具設置
10	4日 音楽リズム教室（幼児） 11日 運動教室（幼児） 12日 内科健診 12日 さつま芋収穫 21日・25日 龍の童まつり 27日 焼き芋 28日 冬野菜種まき、苗植え 29日 国際交流講座（年長・年中）

1 1	1日 社会福祉防災訓練 2日 クッキング（幼児） 8日 ふれあい動物園 15日 七五三宮参り 18日 音楽リズム教室（幼児） 19日 歯科検診
1 2	18日 生活発表会（幼児） 22日 ケアセンター瀬名訪問（※） 23日 クリスマス会 28日 保育納めの会（各クラス）
1	4日 保育はじめ 12日 静岡市公私立こども園人形劇観劇（※） 13日 どんど焼き 18日 5歳児参観会 20日 卒園記念写真撮影 25日 獅子舞（※） 27日 0歳児親子リトミック（※）
2	3日 豆まき 8日 4歳児懇談会（zoom） 9日 1歳児親子リトミック（※） 14日 冬野菜収穫（かぶ・大根） 21日 お店屋さんごっこ（年長児） 22日 3歳児懇談会（zoom） 24日 音楽リズム教室（幼児） 26日 運動教室（幼児） 28日 2歳児運動教室（※） 2歳児懇談会（zoom）
3	1日 交通安全教室（年長児） 2日 1歳児懇談会（zoom） 3日 ひな祭り（各クラス） 4日 サッカー教室（年長児） 8日 お別れ会 9日 年長親子ハイキング（一本松公園） 11日 年中親子ハイキング（一本松公園） 16日 年少親子ハイキング（せせらぎ広場） 18日 リクエスト給食 19日 卒園式 24日 修了式

（※）新型コロナウイルス感染防止のため中止

11 地域交流活動

(1) 老人福祉施設訪問等世代間交流

単位：(人)

事業の内容	時 期	場 所	お年寄り	園児
老人施設訪問	6月26日 10月21日 12月15日	ケアセンター瀬名	(※1)	
龍の童まつり	10月21日・25日	園 庭	(※1)	99 (※2)
防火パレード	11月11日	園 周 辺 ケアセンター瀬名	(※1)	
老人施設訪問 (クリスマス会)		竜 爪 園	(※1)	
獅子舞披露	1月25日	園 庭	(※1)	

(※1) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

(※2) 交流は中止し、在園児のみで平日に実施

(2) 地域における異年齢児との交流

単位：(人)

事業の内容	時 期	場 所	未就園児
運動会	6月 5日	園 庭	(※)
プール自由あそび	8月4日～6日	園プール	(※)
園体験と給食試食会	9月15日	各クラス・遊戯室	(※)
龍の童まつり	10月10日	園 庭	(※)
おしゃべりサロン	月 1 回	園 庭	7
園庭開放	水 曜 日	園 庭	4
一時保育児受入れ	通 年	保 育 室	31
計			42

(※) 新型コロナウイルス感染防止のため中止

12 苦情相談解決結果

北沼上こども園で令和3年4月1日から令和4年3月31日までに受付けた苦情内容及び解決結果について公表します。

苦情内容を真摯に受け止め、より良い施設運営に役立てていきます。

苦情内容及び改善結果報告		
苦 情		
1	項 目	園の駐車場から出入りする車の交通整理をしてほしい
	苦情内容	令和3年4月 地域住民より電話 朝、園前道路を通る際、駐車場から車が勢いよく出てきて怖い思いをした。交通整理を夕方だけでなく朝も行ってもらいたい。
	解決方法	保護者に一旦停止・安全確認のお願いをし、朝夕、職員が交通整理を行う。カーブミラーの設置
	改善結果	カーブミラーの設置を、北沼上自治会長と静岡市に相談、10月に設置。保護者への周知及び朝夕の職員による交通整理の結果、同様の苦情は受けていない。
2	項 目	園の対応について
	苦情内容	令和4年2月 匿名で本部に電話の通報 ・新型コロナウイルス感染症対策等により、園の行事が2年間中止になっている。そのため、子どもの様子が見られないことが不満である。 ・参加会を中止としたのに、保護者会主催の園の清掃活動は行うため、保護者に手伝うよう依頼するなど自分たちの依頼は通すのはどうか。 ・動画配信についても回数が少ない。 ・園は外部の対応には柔軟であるが、保護者の気持ちに寄り添っていない。
	解決方法	直ちに全職員に周知し、行事のあり方や園児の様子配信について、より保護者の気持ちに寄り添った形にするにはどうしたらよいかを話し合った。
	改善結果	・年度末清掃は、年長児の保護者と保護者会役員による恒例行事。今年度は保護者参加をなくし、職員のみで行った。 ・今後行事は、安心安全を第一としつつも、保護者の気持ちに寄り添えるよう検討。また、出来る限り動画配信を行い、園での園児の様子が分かるよう努めていく。
3	項 目	子どものケガについて
	苦情内容	令和4年3月 0歳クラス男児保護者より手紙にて受付 3日続けてのケガがあり、また先日ケガの報告がなく不信感につながっている。年齢にあっていない戸外遊具で遊ぶからケガをするのではないかな？どのように考えているか返事が欲しい。

	解決方法	職員会議にて「ケガは原則として報告、伝えられなかった場合は電話をかける。」ことを全職員に周知徹底。 遊具について検討。遊具で遊ぶことは子どもの体や運動能力を育む効果があり、また、対応年齢外の遊具も遊びたい子どもの気持ちを考慮し、保育者が見守りをし、今後も経験できるようにしていきながらケガの防止に努めていく。
	改善結果	園児のケガの報告は必ず行うよう全職員対し周知したことを説明。遊具を使った遊びについては園の考え方を伝え、保護者にはご理解をいただいた。

13 その他

建て替えを前提とした環境整備

前年度、老朽化のため園庭固定遊具を撤去。建て替えを令和8年に控えている中で、コストを抑えつつも生活や遊びの中で子どもが主体的に活動し、心身共にたくましく育つような環境を整える為、園内研修で職員が意見を出し合い園庭整備を行った。

検討を重ね、築山、ユラユラ橋、ログハウスの3点を導入、環境整備したことにより

- ・ルールを設けないことで自主性が育まれるようになってきた。
- ・体験することで考える力がついた。
- ・制限しないことで新たな視点から遊びが発展するようになった。
- ・異年齢の交流が増えた。
- ・遊びの分散

居宅介護支援センター白寿

1 主要事業報告

(1) 主要事業報告

介護保険法にもとづき、要介護認定を受けた方や地域包括支援センターから委託を受けた要支援者等を自宅で介護サービスなどを利用しながら生活できるようご本人・ご家族等の心身の状況や生活環境、希望等に寄り添い、居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、ケアプランにもとづいて介護保険サービスなどを提供する事業所との連絡・調整などを行う。

(2) 新型コロナウイルス対応

ア 日常における体調管理に努め、年間を通して、出勤前、帰宅後の検温実施・手洗い・消毒・マスク着用などの感染予防を励行し、不要不急の外出も控えた。

イ 外部研修では、ZOOMなどを活用し、非接触に努めた。

ウ ワクチン接種

2 職員数

単位：(人)

職名	令和3年度当初			令和4年度当初		
	男	女	計	男	女	計
所長	(1)		(1)	(1)		(1)
主任介護支援専門員兼 主任計画作成担当者兼 主任訪問介護員					1	1
主任介護支援専門員兼 主任訪問介護員		1	1			
管理者兼 主任介護支援専門員					1	1
管理者兼 副主任介護支援専門員		1	1			
事務員	(1)		(1)	(1)		(1)
計	(2)	2	2 (2)	(2)	2	2 (2)

()は外数

3 施設整備

該当なし

4 職員の研修〈年間〉

単位：（人）（日）

職部門	研修内容	主催者等	参加人員	出席日数
介護支援 専門員	介護予防支援/介護予防ケアマネジメント業務委託手順に係る説明会	服織地域包括支援センター	1	1
	第1回南部事例ネットワーク	ケアマネット協会駿河支部	1	1
	第3回静岡市認定調査員新任研修	市保健福祉長寿局健康福祉部 介護保険課給付・認定係	1	1
	ケアマネジャー在宅医療研修	県訪問看護ステーション協議会	1	1
	第1回自立支援プラン型地域ケア個別会議	小鹿豊田地域包括支援センター	1	1
	介護報酬改正説明会	静岡市ケアマネット協会	1	1
	計		6	6

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備考
成人病検査（一般）	年1回	市医師会	1人	
ストレスチェック	年1回	聖隷健康サポートセンター	1人	

6 利用者へのサービス状況

(1) 要介護認定申請代行件数

単位：（件）

区分	月												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
新規	1	1	0	2	0	1	0	0	1	0	5	0	11
更新	3	3	0	0	3	0	2	0	1	1	0	0	13
変更	1	1	1	1	2	2	0	5	1	0	3	1	18
合計	5	5	1	3	5	3	2	5	3	1	8	1	42

(2) 居宅サービス計画作成件数

単位：(件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	2	2	2	3	3	3	3	2	2	4	3	3	32
要支援2	7	8	7	8	8	8	8	7	6	6	6	6	85
要介護1	14	15	16	14	14	13	12	13	13	15	13	13	165
要介護2	8	7	5	6	5	4	3	4	4	8	7	7	68
要介護3	9	7	7	7	5	4	3	3	3	3	3	3	57
要介護4	6	6	6	6	8	9	8	8	8	8	7	7	87
要介護5	0	2	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11
合計	47	48	45	46	45	43	39	39	37	46	41	41	517

7 利用者の年齢（令和4年3月31日）

65歳 以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	計	平均年齢
0人	2人	4人	6人	7人	12人	9人	2人	42人	84歳 7か月

8 苦情相談解決結果

該当なし

付 属 明 細 書

○ 本 部	該当する事項はなし
○ ケアハウス白寿荘	該当する事項はなし
○ 静岡老人ホーム	該当する事項はなし
○ ヘルパーステーション白寿	該当する事項はなし
○ 静岡市救護所	該当する事項はなし
○ わらしな学園	該当する事項はなし
○ わらしなホーム（グループホーム）	該当する事項はなし
○ わらしなロッジ	該当する事項はなし
○ 相談支援センターわらしな	該当する事項はなし
○ 小鹿こども園	該当する事項はなし
○ 北沼上こども園	該当する事項はなし
○ 居宅介護支援センター白寿	該当する事項はなし